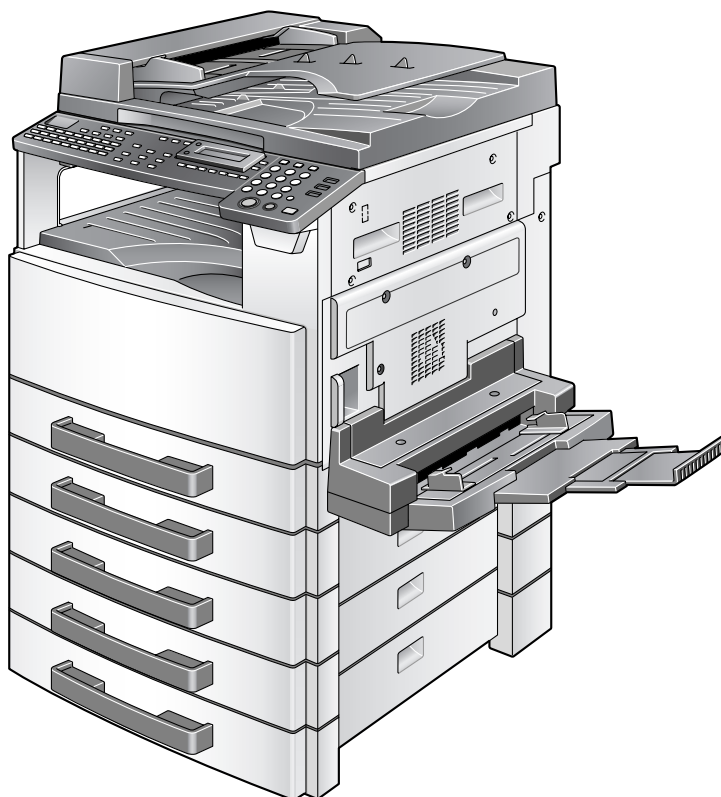


スキャナユニット SU-502

ユーザーズガイド



この製品はオプションです

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

はじめに

本書では主に、インターネット／イントラネットを使用した、ネットワークスキャン機能の使いかたを説明しています。

この製品はオプションです。別途、購入する必要があります。

この機能をご使用になる前に必ずお読みください。

コピー機本体の使いかたと安全に関する注意事項については、本体に付属のユーザズガイドを参照してください。

本書および付属の CD-ROM は、参照できるように安全な場所に保管してください。

■ 商標について

PageScope はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Ethernet は、米国ゼロックス社の登録商標です。

PCL は、Hewlett-Packard Company の登録商標です。

Microsoft® とそのロゴ、および Windows®, Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。

Novell および NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2005 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

仕様などは製品の改良の為、予告なしに変更することがあります。

■ PageScope Web Connection について

ネットワークカードを装着することでネットワークユーティリティ「PageScope Web Connection」が使用可能となります。PageScope Web Connection はネットワーク経由でネットワークやその他の設定を行う、非常に便利なネットワークユーティリティです。

PageScope Web Connection を使用するには、コンピュータに Web ブラウザ（Internet Explorer、Netscape Navigator）がインストールされているだけでよく、特別なソフトウェアがなくても使用することができます。PageScope Web Connection の使いかたについては、「PageScope Web Connection の使いかた」（p. 1-13）を参照してください。

ひとこと

本書の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書に掲載されている画面イメージは、実際のものと異なる場合があります。

1
ご使用の
前に

2
ネットワーク
の設定

3
送信先の
登録

4
Scan to
E-mail の
使いかた

Scan to
Server
(FTP) の
使いかた

5
インターネット
ファクスの
使いかた

6
送受信
結果の
確認

8
トラブル
シューティング

9
付録

10
索引

はじめに	1
商標について	1
PageScope Web Connection について	1
もくじ	2
ページの見かた	6
第 1 章 ご使用の前に	1-1
1.1 概要	1-2
Scan to E-mail	1-2
Scan to Server (FTP)	1-3
インターネットファクス	1-5
ダイレクトファクス送信	1-6
スキャンデータ送信に必要な環境	1-6
1.2 操作パネル部の名称とはたらき	1-7
ディスプレイ表示	1-9
絵文字一覧	1-9
1.3 文字の入力のしかた	1-10
キー操作	1-10
入力例	1-12
文字列の訂正のしかたと入力時の注意	1-12
1.4 PageScope Web Connection の使いかた	1-13
動作環境	1-14
アクセスのしかた	1-14
画面の説明	1-15
管理者モードへのログインのしかた	1-16
1.5 ローカルエリアネットワーク (LAN) への接続のしかた	1-17
LAN ケーブルを接続する	1-17
ネットワークポートの LED について	1-17
第 2 章 ネットワークの設定	2-1
2.1 ネットワークの設定について	2-2
ネットワークの設定一覧	2-2
2.2 本体操作パネルからの設定について	2-7
2.3 ネットワーク設定	2-8
IP アドレスを設定する	2-8
サブネットマスクを設定する	2-9
ゲートウェイを設定する	2-10
DNS を設定する	2-11
ゲートウェイ送信を設定する	2-12
2.4 メール設定 (メール設定 1 メニュー)	2-13
送信者名を登録する	2-13
送信元メールアドレスを登録する	2-14
SMTP サーバアドレスを設定する	2-15
SMTP ポート番号を設定する	2-16
SMTP サーバタイムアウトを設定する	2-17
テキスト挿入を設定する	2-18

メールの件名を設定する	2-18
メールモードを設定する	2-19
2.5 メール設定（メール設定 2 メニュー）	2-21
POP3 サーバアドレスを設定する	2-21
POP3 ポート番号を設定する	2-22
POP3 サーバタイムアウトを設定する	2-23
POP3 アカウントを設定する	2-24
POP3 パスワードを設定する	2-25
自動受信を設定する	2-26
結果転送アドレスを設定する	2-27
ヘッダープリントを設定する	2-27
2.6 PageScope Web Connection からの設定について	2-28
2.7 「ネットワーク」タブ	2-29
TCP/IP 情報	2-29
SMTP と POP3 情報	2-30
FTP と DNS 情報	2-32
2.8 「ファクス」タブ	2-33
ファクスの設定	2-33
2.9 「スキャン」タブ	2-35
ファイル転送設定	2-35
第 3 章 送信先の登録	3-1
3.1 送信先の登録について	3-2
3.2 本体操作パネルからの登録	3-3
ワンタッチダイヤルの登録	3-3
短縮ダイヤルの登録	3-5
グループダイヤルの登録	3-8
3.3 PageScope Web Connection からの登録	3-10
ワンタッチダイヤルの登録	3-10
ワンタッチダイヤルを新たに登録する	3-11
短縮ダイヤルの登録	3-13
短縮ダイヤルを新たに登録する	3-14
グループダイヤルの登録	3-16
グループダイヤルを新たに登録する	3-16
短縮ダイヤル（FTP サーバ）の登録	3-18
短縮ダイヤル（FTP サーバ）を新たに登録する	3-18
相手先リストをダウンロード／アップロードする	3-21
第 4 章 Scan to E-mail の使いかた	4-1
4.1 基本的な送信のしかた	4-2
自動原稿送り装置を使用するとき	4-2
原稿ガラス上にセットするとき	4-5
4.2 読み取りモードの設定変更をする	4-8
4.3 読み取りサイズの設定変更をする	4-10
4.4 スキャン設定項目の初期値を設定する	4-11
画質（解像度）の設定	4-11

	データ形式の設定	4-11
	圧縮符号化方式の設定	4-12
4.5	原稿読み取り中にメモリ不足になった場合	4-13
4.6	ワンタッチダイヤルから相手先を選択する	4-14
4.7	短縮ダイヤルから相手先を選択する	4-15
4.8	グループダイヤルから相手先を選択する	4-16
4.9	電話帳から相手先を選択する	4-17
	電話帳の検索のしかた	4-18
第 5 章	Scan to Server (FTP) の使いかた	5-1
5.1	基本的な送信のしかた	5-2
	自動原稿送り装置を使用するとき	5-2
	原稿ガラス上にセットするとき	5-5
5.2	原稿読み取り中にメモリ不足になった場合	5-8
第 6 章	インターネットファックスの使いかた	6-1
6.1	基本的な送信のしかた	6-2
	自動原稿送り装置を使用するとき	6-2
	原稿ガラス上にセットするとき	6-4
6.2	ファクス画質の設定	6-7
	ファクス画質を設定する	6-7
6.3	メールモードの設定変更をする	6-8
6.4	原稿読み取り中にメモリ不足になった場合	6-10
6.5	ワンタッチダイヤルから相手先を選択する	6-11
6.6	短縮ダイヤルから相手先を選択する	6-12
6.7	グループダイヤルから相手先を選択する	6-13
6.8	電話帳から相手先を選択する	6-14
	電話帳の検索のしかた	6-15
6.9	複数の相手先に送信する（同報送信）	6-17
	同報送信のしかた	6-17
	中継同報送信	6-19
6.10	指定した時刻に送信する（時刻指定送信）	6-20
	時刻指定送信のしかた	6-20
6.11	送信予約をキャンセル（削除）する	6-22
	予約キャンセルのしかた	6-22
6.12	インターネットファクス受信	6-24
	受信できるメールの形式	6-24
	自動受信	6-24
	手動受信	6-24
6.13	ファクス文書の転送	6-26
	転送設定のしかた	6-27

第 7 章	送受信結果の確認	7-1
7.1	送受信結果の確認について	7-2
	通信結果の確認のしかた	7-2
第 8 章	トラブルシューティング	8-1
8.1	主なメッセージと処置のしかた	8-2
8.2	故障かな？と思ったら	8-3
	Scan to E-mail	8-3
	インターネットファクス送信	8-3
	インターネットファクス受信	8-4
	ダイレクトファクス送信（ゲートウェイ送信）	8-4
	PageScope Web Connection	8-5
第 9 章	付録	9-1
9.1	おもな製品仕様	9-2
	Scan to E-mail / Scan to Server（FTP）	9-2
	インターネットファクス	9-2
第 10 章	索引	10-1
10.1	項目別索引	10-2

項目のタイトルで説明されている
内容を確認します。



参照先を指示します。
必要に応じてご覧ください。

【 】
操作パネルのキー名称、
電源スイッチなどを
示します。

3.4 最初に必要な登録と設定の確認

本機の持っている機能を十分に活用していただくために、ここ
で説明している時刻やワンタッチダイヤルキーなどをあらかじめ
登録してください。

現在の日付／時刻を設定する

① 【ユーティリティ】キーを押します。

ユーティリティ



「時計 セッティ」画面が表示されます。

② テンキーの【1】を押し、「ニチジ セッティ」を選択します。

1 ニチジ セッティ

③ テンキーで時刻を入力します。

0:00 00 01 01
HOUR (OK=YES)

④ 【Yes】キーを押し、タイムゾーンの設定画面を表示
させます。

タイム ゾーン = GMT+00:00
YES

⑤ 【Yes】キーを押します。
「ユーザーデータリロード」画面が表示されます。
【リセット】キーを押すと基本画面に戻ります。

注意

上カバー内金属部は高温となっています。
やけどの原因となりますので用紙以外には手を触
れないでください。

設定内容については「8
ユーティリティ／コピー設
定」、「9 ユーティリティ
／ファクス設定」をご覧く
ださい。

3

ひとこと
時刻は24時間制で指定し
ます。

詳しく説明します
・▼、▲キーでタイムゾ
ーンを選択します。
ネットワークカードNC-
502とスキャナユニット
SU-502を装着したとき
のみ、この設定が必要
です。

必ず守ってください
給紙ローラの表面には手
を触れないように注意し
てください。

基本機能 3-5

必ず守ってください

操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、
必ず行ってください。

警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項
です。警告は、表示を無視して誤った取扱いを
すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定
される内容を示しています。注意は、表示を無視
して誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性
または物的損害のみを負う可能性が想定される
内容を示しています。

(このページは実際には存在しません。)

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、
さらに詳しく説明しています。

ひとこと

作業手順や内容に関して、
参考となることや補足事項
などが書かれています。
お読みになることを
おすすめします。

第 1 章

ご使用の前に

ご使用の前に知っておきたいことについて説明します。

1.1 概要	1-2
1.2 操作パネル部の名称とはたらき	1-7
1.3 文字の入力のしかた	1-10
1.4 PageScope Web Connection の使いかた	1-13
1.5 ローカルエリアネットワーク（LAN）への接続のしかた	1-17

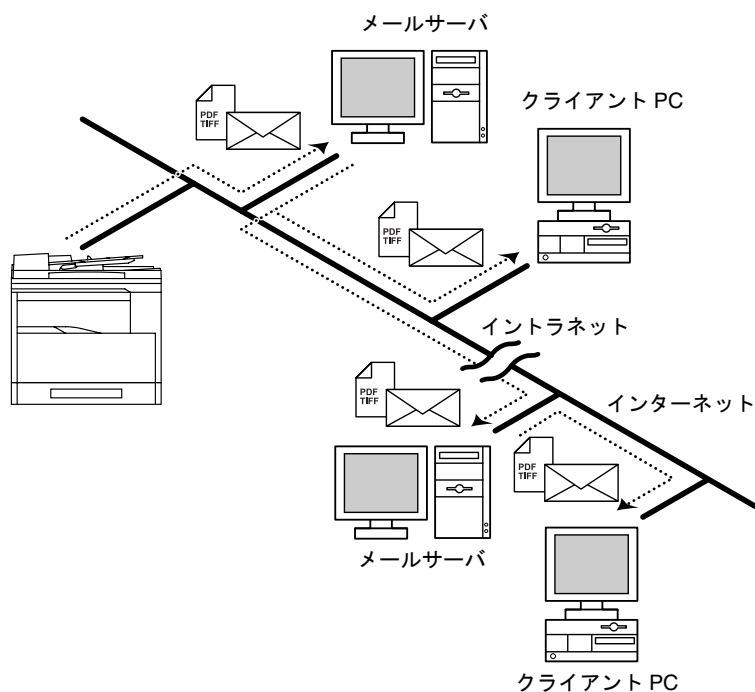
1.1 概要

スキャン機能を使用することで、紙の書類を手軽に電子データ化したり、電子ファイリングなどに利用して情報にアクセスしやすくしたりできます。読み取った画像データ（スキャンデータ）は TIFF 形式ファイルまたは PDF ファイルとして保存され、ネットワーク経由でコンピュータに転送できます。

スキャンデータを転送するには、以下の方法があります。ネットワーク環境や使用目的に合わせてご使用ください。

■ Scan to E-mail

スキャンデータを、TIFF 形式ファイルまたは PDF ファイルとしてメールに添付し、ネットワーク上のコンピュータやインターネット経由でコンピュータへ送信します。

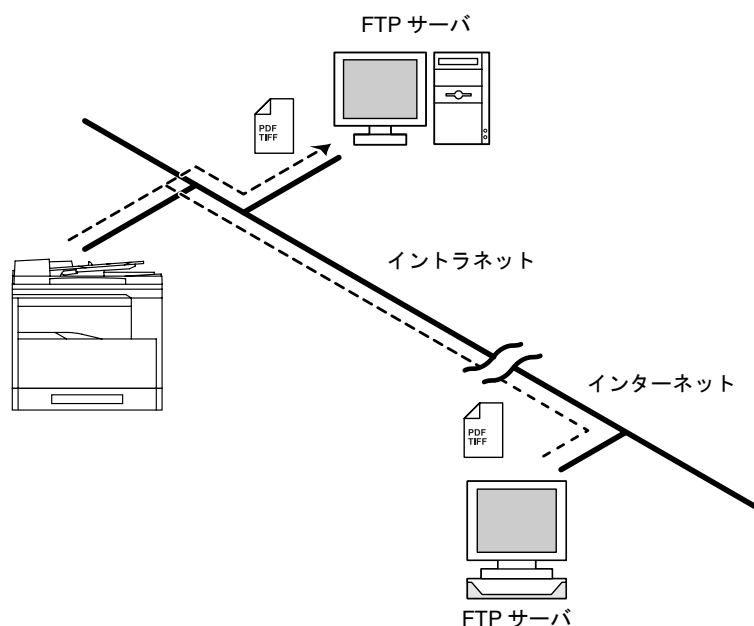


ひとこと

メールサーバのあるネットワーク環境が必要です。

■ Scan to Server (FTP)

スキャンデータを、TIFF 形式ファイルまたは PDF ファイルとして FTP サーバの指定のディレクトリにアップロードします。

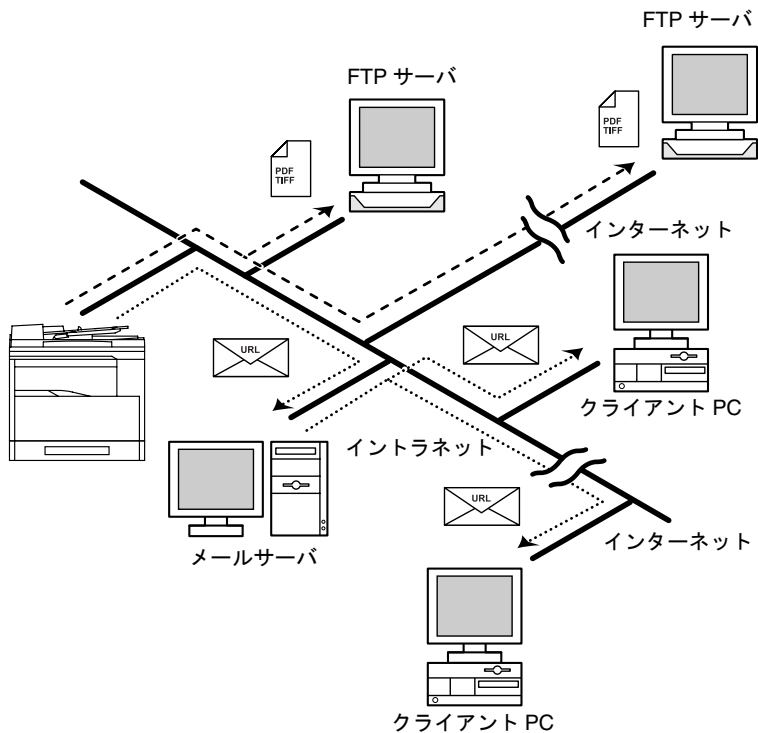


ひとこと

- FTP サーバのあるネットワーク環境が必要です。
- プロキシサーバ経由でインターネット上の FTP サーバにアクセス可能です。

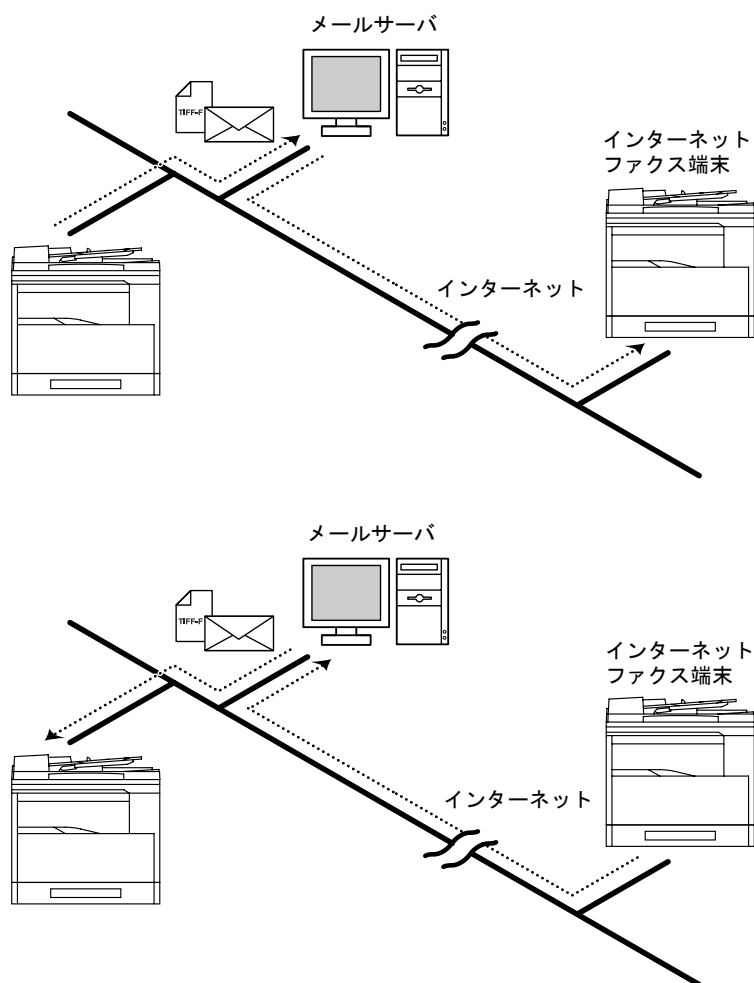
1.1 概要

アップロードした FTP サーバアドレスを、指定した相手先（10 箇所）にメールで通知するように設定することもできます。



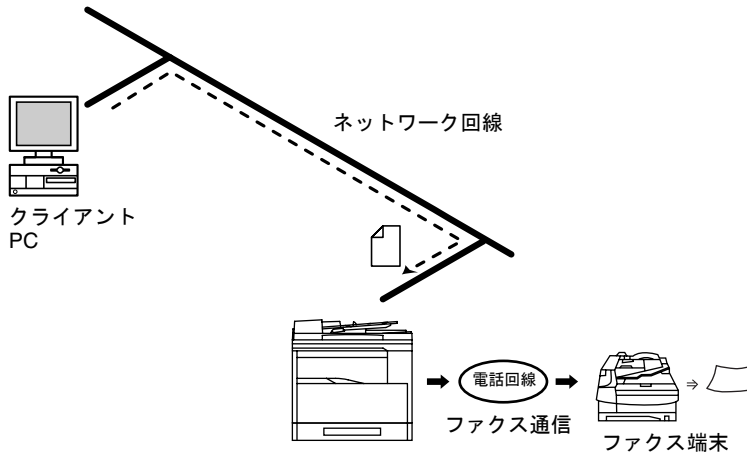
■ インターネットファクス

インターネットファクスは、電話回線を経由する通常のファクスとは違い、インターネットを経由してファクス画像の送受信をします。インターネットファクスでは、ファクス画像の送受信にインターネットの電子メール（以下「メール」）の仕組みを利用しています。インターネットファクス端末で読み取った画像データを、TIFF-F 形式ファイルとしてメールに添付し、相手のインターネットファクス端末に送信します。受信側のインターネットファクス端末では、受信したメールの添付ファイルをプリントします。



■ ダイレクトファクス送信

ダイレクトファクス送信では、ワープロソフトなどのアプリケーションソフトで作成した文書をプリントすることなく、コンピュータから電話（ファクス）番号を指定するだけで、相手先のファクスに送信できます。



■ スキャンデータ送信に必要な環境

インターネットファクス機能、ネットワークスキャン機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	インターネットファクス	ダイレクトファクス
イメージデータ転送に必要な環境	メールサーバ (SMTP サーバ)	• FTP サーバ • メール通知を使用する場合は、メールサーバ (SMTP サーバ)	メールサーバ (SMTP サーバ)	対応アプリケーションソフト
イメージデータ取り込みに必要な環境	• メールクライアント PC • メールサーバ (POP3 サーバ)	FTP クライアント PC	• インターネットファクス端末 • メールサーバ (POP3 サーバ)	—

ひとこと

ダイレクトファクス送信を行うには、ネットワーク設定の「ゲートウェイ」を「キヨ」に設定しておく必要があります。ゲートウェイ送信の設定については、「ネットワーク設定」(p. 2-8)を参照してください。ダイレクトファクス送信を利用するには、アプリケーションソフトが必要です。アプリケーションソフトにつきましては、製品を購入された販売店にお問い合わせください。

詳しく説明します

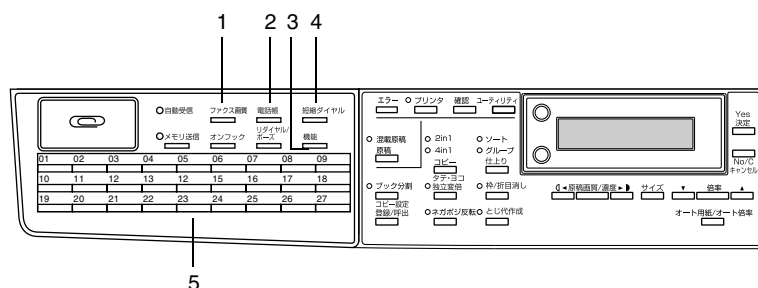
ダイレクトファクス送信を行う場合、本体側での操作は必要ありません。コンピュータにインストールしたアプリケーションソフト側で操作してください。

ひとこと

- インターネットファクス機能およびネットワークスキャン機能を使用するには、TCP/IP ネットワーク環境が必要です。
- 電話回線が必要な機能を使用する場合には、本体が電話回線に接続されている必要があります。

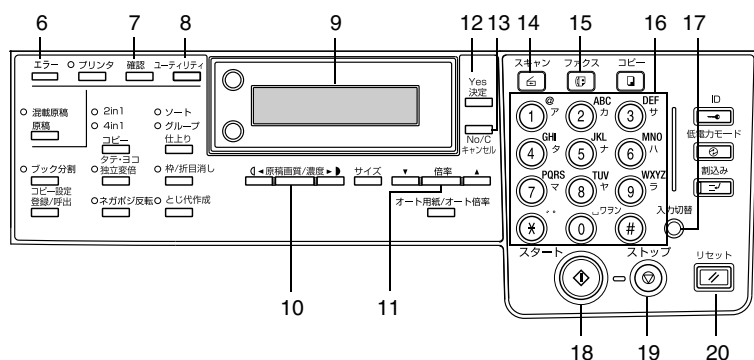
1.2 操作パネル部の名称とはたらき

1



No.	名称	機能
1	ファクス画質キー	インターネットファクスの画質（送信解像度）を選択します。
2	電話帳キー	ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているアドレスの中から、必要なアドレスを検索して表示します。
3	機能キー	機能設定画面に切り替えます。 「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p. 6-17）、「指定した時刻に送信する（時刻指定送信）」（p. 6-20）、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-22）、「インターネットファクス受信」（p. 6-24）
4	短縮ダイヤルキー	3桁の数字と組み合わせて、あらかじめ登録されている相手先を指定します。
5	ワンタッチダイヤルキー	あらかじめ登録されている相手先を指定します。

1.2 操作パネル部の名称とはたらき



No.	名称	機能
6	エラーランプ	エラーが発生したときに点灯します。
7	確認キー	通信結果の確認を行います。
8	ユーティリティキー	ユーティリティモードの設定画面に切り替えます。 本体設定、ファクス登録、メール設定 1、メール設定 2、ネットワーク設定、スキャン設定
9	ディスプレイ	メールアドレスなどの設定状況や、設定メニュー、エラーメッセージを表示します。
10	◀、▶ キー 原稿画質 / 濃度キー	ネットワークスキャン機能で、読み取りモードの設定時に使用します。機能選択画面で左右キーとして使用します。
11	▼、▲ キー 倍率キー	機能選択画面や一覧画面で上下キーとして使用します。
12	Yes 決定キー	各種設定値を決定します。
13	No/C キャンセルキー	入力中の文字や数字を消去します。前の画面に戻ります。
14	スキャンキー	スキャンモードに切り替えます。キーがグリーン色に点灯し、スキャンモードであることを示します。
15	ファクスキー	インターネットファクスで、スキャンデータの送信時やメールの受信時に使用します。キーがグリーン色に点灯し、ファクスモードであることを示します。
16	テンキー	各種設定値を入力します。数字 / 文字列を入力します。メールアドレスなどのテキストを入力します。短縮番号を入力します。

No.	名称	機能
17	入力切替キー	数値と文字列の入力を切替えます。
18	スタートキー	読み取り、メール送信、ファイル送信を開始します。
19	ストップキー	原稿の読み取り、送信、受信、プリントを停止させます。
20	リセットキー	現在の操作中の設定をすべて解除します。



■ ディスプレイ表示

1	16:00	STD	100%
2	ゲンコウ	ヲ	セット シテクダサイ

1	SCAN TO E-MAIL/FILE
2	ゲンコウ ヲ セット シテクダサイ

No.	ディスプレイ表示	説明
1	モード・機能表示 エリア	<ul style="list-style-type: none"> 現在選択されているモードや機能の設定状態などが表示されます。 各種設定メニュー、選択肢が表示されます。 エラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。 待ち受け状態のときは、時刻とメモリ残容量が表示されます。
2	メッセージ表示 エリア	操作の指示メッセージなどが表示されます。

■ 絵文字一覧

絵文字	説明
	メールを送信中または受信中です。
	時刻指定送信待ちのメールがあります。

1.3 文字の入力のしかた

発信元を登録したり、ワンタッチダイヤルキーなどに相手先の名前を登録したりするときの、操作パネルでの文字の入力のしかたについて説明します。

■ キー操作

テンキーで数字、カタカナ、英字、記号を入力します。

数字、英字／記号とカタカナの入力切り替えは【入力切替】で行います。

数字入力時は、[1] がディスプレイに表示されます。

英字／記号入力時は、[A] がディスプレイに表示されます。

カタカナ入力時は、[7] がディスプレイに表示されます。

テンキーの各キーで利用できる文字は、以下の表のようになっています。

メールアドレス入力時の文字列一覧

テンキー		入力文字列 *
1	@	. (ピリオド) @ _ (アンダーバー) - (ハイフン) 1
2	ABC	ABC2abc
3	DEF	DEF3def
4	GHI	GHI4ghi
5	JKL	JKL5jkl
6	MNO	MNO6mno
7	PQRS	PQRS7pqrs
8	TUV	TUV8tuv
9	WXYZ	WXYZ9wxyz
0	␣ (スペース)	(スペース) 0
*		+&/*=!?()%[]^`{ } →\$
#		#

* テンキーを繰り返し押すと、文字／記号が各欄に記されている順番でディスプレイに表示されます。
「→」は「~」（チルダ）として扱われます。

相手先名／送信者名入力時の文字列一覧

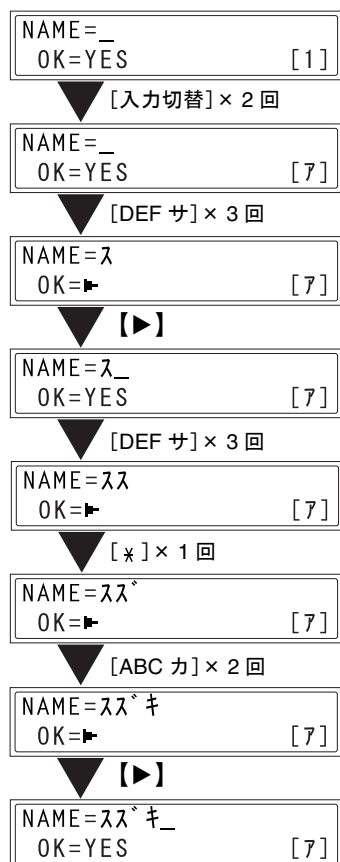
テンキー		入力切替	入力文字列 *
1	@	[A] 表示の時	. (ピリオド) @ _ (アンダーバー) - (ハイフン) 1
	ア	[7] 表示の時	アイウエオアイウエオ
2	ABC	[A] 表示の時	ABC2abc
	カ	[7] 表示の時	カキクケコ
3	DEF	[A] 表示の時	DEF3def
	サ	[7] 表示の時	サシスセソ
4	GHI	[A] 表示の時	GHI4ghi
	タ	[7] 表示の時	タチツテトッ
5	JKL	[A] 表示の時	JKL5jkl
	ナ	[7] 表示の時	ナニヌネノ
6	MNO	[A] 表示の時	MNO6mno
	ハ	[7] 表示の時	ハヒフヘホ
7	PQRS	[A] 表示の時	PQRS7pqrs
	マ	[7] 表示の時	マミムメモ
8	TUV	[A] 表示の時	TUV8tuv
	ヤ	[7] 表示の時	ヤユヨヤユヨ
9	WXYZ	[A] 表示の時	WXYZ9wxyz
	ラ	[7] 表示の時	ラリルレロ
0	(スペース)	[A] 表示の時	(スペース) 0
	ワラン	[7] 表示の時	ワラン (スペース)
*	*°	[A] 表示の時	+&/*=!?()%[]^'{} →\$,;:<>"
		[7] 表示の時	*°
#			#

* テンキーを繰り返し押すと、文字／記号が各欄に記されている順番でディスプレイに表示されます。
「→」は「~」（チルダ）として扱われます。

■ 入力例

名前を入力する場合の例：スズキ

ディスプレイ上のカーソル () は、その位置の文字と交互に表示されます。



■ 文字列の訂正のしかたと入力時の注意

入力済みの文字列をすべて消去したい場合は、【No】を1秒以上押し続けます。

入力済みの文字列の一部を削除したい場合は、【◀】、【▶】で削除したい文字の上にカーソル () を移動させ、【No】を押します。

スペースを入力したい場合は、【入力切替】で[A]をディスプレイに表示させた状態でテンキーの【0】を押します。

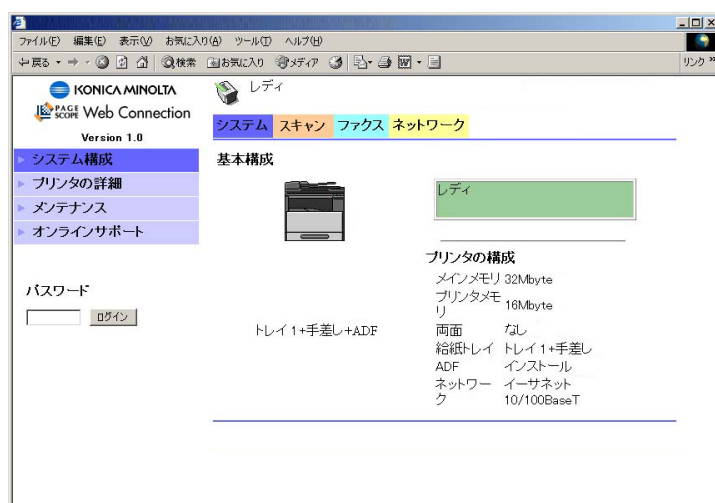
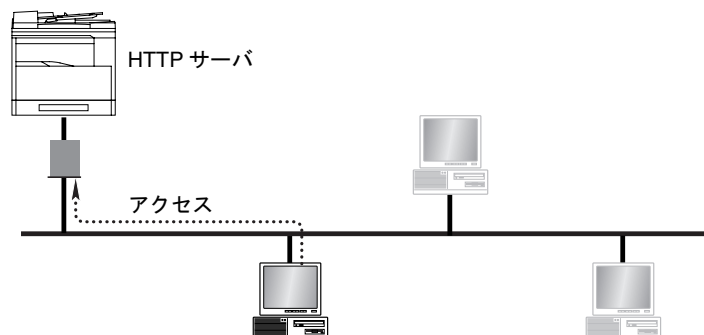
文字を入力するときは、直前に入力した文字と次に入力する文字で同じキーを使う場合は、次の文字を入力する前に【▶】を押します。（「入力例」(p. 1-12)を参照。）

入力済みの文字列を修正したい場合は、【◀】、【▶】で修正したい文字の上にカーソル () を移動させ、【No】を押して修正したい文字を削除してから修正文字を入力します。

1.4 PageScope Web Connection の使いかた

1

PageScope Web Connection は、ネットワークカードに内蔵されている HTTP サーバが提供する、デバイス管理用のユーティリティ・プログラムです。このユーティリティは、Web ブラウザを通して、本体とネットワークカードを遠隔管理するために使用します。



PageScope Web Connection を使って、例えば、次のようなことができます。

- ネットワークの設定／変更
 - TCP/IP 設定
 - SMTP 設定
 - POP3 設定
 - FTP 設定
- メールアドレスの登録／変更
 - ワンタッチダイヤル設定
 - 短縮ダイヤル設定
 - グループダイヤル設定
 - 短縮ダイヤル設定 (FTP サーバアドレス登録)

■ 動作環境

PageScope Web Connection は以下の環境で使用できます。

OS	Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me、 Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、 Windows Server 2003
Web ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 4.0 以降 Netscape Navigator 4 以降

■ アクセスのしかた

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスします。

1

お使いの Web ブラウザを起動します。

2

アドレス欄に本機の IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押します。
http:// <本機の IP アドレス> /

- (例) 本機の IP アドレスが 192.168.0.100 の場合は、以下のように入力します。
http://192.168.0.100/

3

PageScope Web Connection の画面が表示されます。

ひとこと

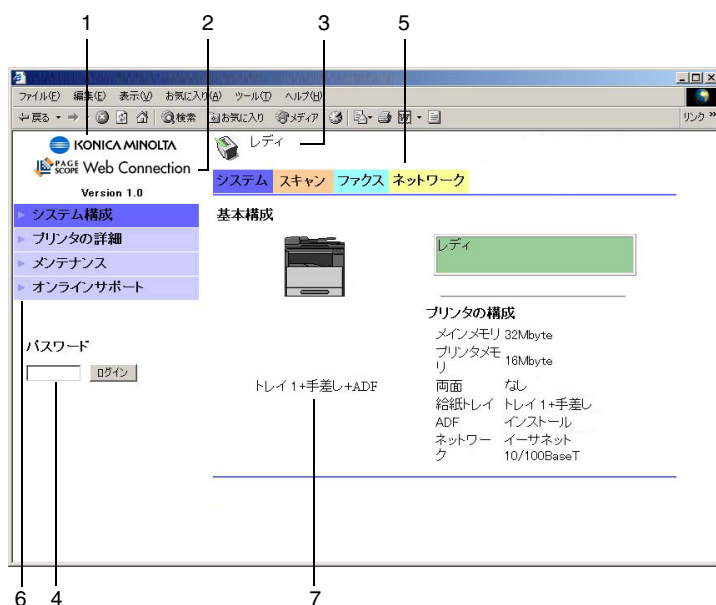
PageScope Web Connection を使用するには、事前に本体操作パネルで IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定しておく必要があります。設定のしかたについては、「ネットワーク設定」(p. 2-8) を参照してください。

詳しく説明します

PageScope Web Connection は、インターネットの Web ページと同様に操作します。画面内のリンクをクリックしてリンク先へジャンプしたり、[戻る] または [進む] ボタンをクリックして表示を前後に進めたりすることができます。

■ 画面の説明

PageScope Web Connection にアクセスすると、以下の画面が表示されます。



1	ロゴ	クリックすると、メーカーの Web サイトにジャンプします。
2	ロゴ	クリックすると、バージョン情報についての新しい画面が表示されます。表示された画面で PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると PageScope の Web サイトへジャンプします。
3	ステータス表示	本機の現在の状況が表示されます。
4	管理者用パスワード	パスワードを入力すると管理者モードにログインできます。
5	タブ	各種設定のカテゴリを選択します。
6	メニュー	設定項目または表示する情報を選択します。
7	情報・設定の表示	メニューで選択している項目の内容が表示されます。

ひとこと

本書に掲載されている画面イメージは、実際のもものと異なる場合があります。また、画面は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 管理者モードへのログインのしかた

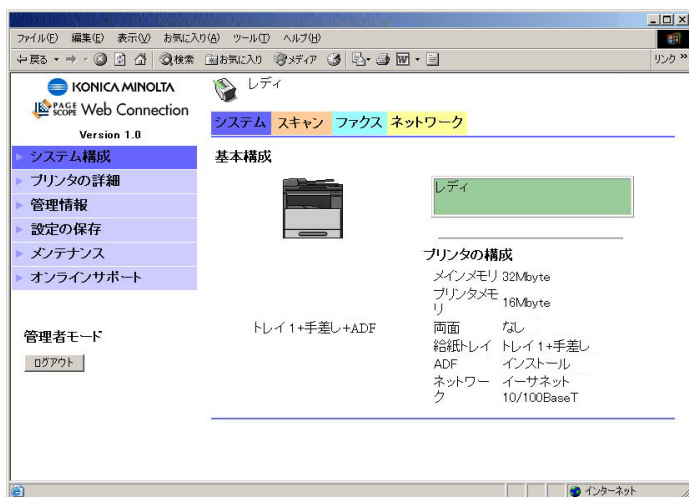
PageScope Web Connection では、管理者でないと変更できない設定があります。それらの設定項目は、管理者モードにログインしたときのみ表示されます。

1

画面の左側にある「パスワード」ボックスに、管理者用パスワードを入力します。

2

[ログイン] ボタンをクリックして、管理者モードにログインします。



3

ログアウトするときは、[ログアウト] ボタンをクリックします。

詳しく説明します

管理者モードで PageScope Web Connection にログインしているときは、本体を使用できません。また本体が動作中または操作中のときは、管理者モードでログインすることはできません。

詳しく説明します

管理者モードへのログインパスワードの初期値は「sysadm」です。管理者用パスワードは、管理者モードで必ず変更しておいてください。

ひとこと

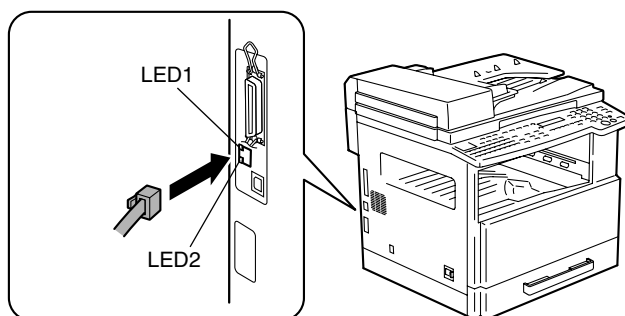
何も操作を行わない状態で10分間経過すると、PageScope Web Connection では自動的にログアウトします。

1.5 ローカルエリアネットワーク（LAN）への接続のしかた

本機は、LAN を使い TCP/IP プロトコルで通信します。そのため、ネットワークケーブルで本体を LAN に接続する必要があります。

■ LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルのコネクタを本体左側のネットワークポート（LAN）に差し込み、もう一方のコネクタをネットワークハブの空いているポートに差し込みます。



■ ネットワークポートの LED について

LED1（LINK）： ネットワークケーブルが正しく接続されていると点灯します。正しく接続されているにもかかわらず点灯しない場合は、もう一度接続を確認してください。双方が正しく接続されているにもかかわらず点灯しない場合は、ネットワークケーブルが断線している可能性があります。

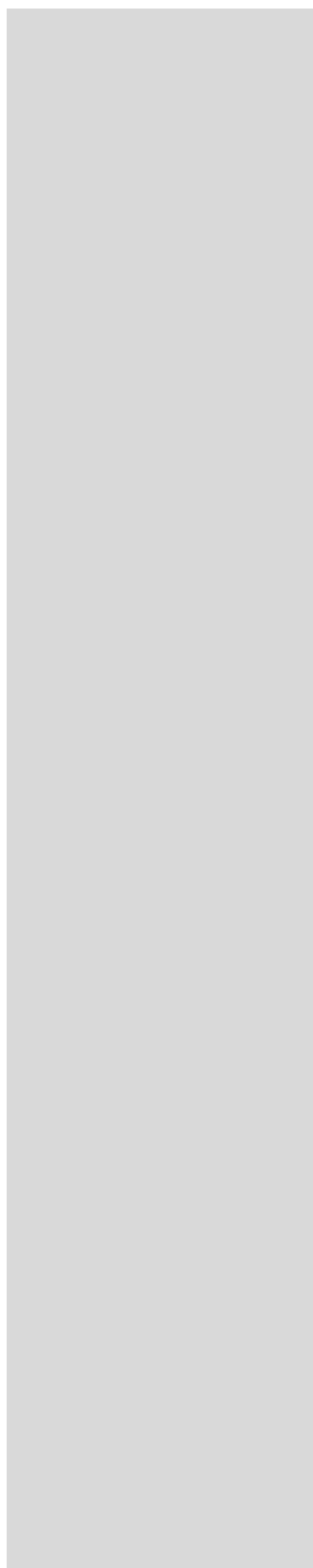
LED2（ACT）： データの送受信時に点滅します。

ひとこと

ネットワークポートは、本体左側面にあります。



LAN ケーブルは、カテゴリ 5 または 5E のケーブルを使用してください。なお、LAN ケーブルは本機に付属していません。



第 2 章

ネットワークの設定

操作パネルや、PageScope Web Connection を使用して行うネットワークの設定について説明します。

2.1 ネットワークの設定について	2-2
2.2 本体操作パネルからの設定について	2-7
2.3 ネットワーク設定	2-8
2.4 メール設定（メール設定 1 メニュー）	2-13
2.5 メール設定（メール設定 2 メニュー）	2-21
2.6 PageScope Web Connection からの設定について	2-28
2.7 「ネットワーク」タブ	2-29
2.8 「ファクス」タブ	2-33
2.9 「スキャン」タブ	2-35

2.1 ネットワークの設定について

本機を接続するネットワーク環境によって、使用できるネットワーク機能が制限される場合があります。使用する機能および環境に合わせてネットワークの設定を行ってください。

ひとこと

ネットワークの設定は、本体操作パネルまたは PageScope Web Connection の管理者モードから行います。

■ ネットワークの設定一覧

機能	説明	インター ネット ファクス	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	ダイレクト ファクス	設定	
						本体 操作 パネル	Page Scope Web Connection
○：必要、－：不必要、●：必要に応じて						○：設定可能 －：設定不可能	
ネットワーク設定							
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。 ネットワーク管理者に取得依頼をしてください。	○*2	○*2	○*2	○*2	○	○
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。	○*2	○*2	○*2	○*2	○	○
ゲートウェイ	ネットワークにルータがある場合に、デフォルトゲートウェイ（ルータの IP アドレス）を設定します。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。	○*2	○*2	○*2	○*2	○	○

機能	説明	インター ネット ファクス	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	ダイレクト ファクス	設定	
						本体 操作 パネル	Page Scope Web Connection
DNS セッテ	DNS (Domain Name System) を使用するかどうかを設定します。ネットワーク内に DNS サーバがある場合は、DNS サーバの IP アドレスを入力します。 * ネットワーク内に DNS サーバがある場合は「キヨ」に設定します。ネットワーク管理者に問い合わせてください。	●	●	●	—	○	○
ゲートウェイ ソクシ	ダイレクトファクスを使用する場合は「キヨ」に設定します。	—	—	—	○	○	—
メール設定 1							
ソクシヤ メ	送信者名を設定します。	○	○	●*1	—	○	○
メール アドレ	送信者のメールアドレスを設定します。ネットワーク管理者に取得依頼をしてください。	○	○	●*1	—	○	○
SMTP サーバ	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。ネットワーク管理者に問い合わせてください。	○	○	○*3	—	○	○

2.1 ネットワークの設定について

機能	説明	インター ネット ファクス	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	ダイレクト ファクス	設定	
						本体 操作 パネル	Page Scope Web Connection
SMTP ポート No.	SMTP サーバの ポート番号（1 ～ 65535）を設 定します。 ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	○	●*1	—	○	○
SMTP サーバ タイム アウト	SMTP サーバと の接続をタイム アウトするまで の時間（秒）を 設定します。 （30 秒～ 300 秒） ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	○	●*1	—	○	○
テキスト リユニウ	スキャンデータ をメールに添付 して送信する場 合、画像データ が添付されていることを説明す る文章を挿入す るかどうかを設定 します。	○	○	●*1	—	○	○
件名	スキャンデータ をメールに添付 して送信する場 合のデフォルト の件名 （Subject）を設定 します。	○	○	●*1	—	○	○
メール モード	インターネット ファクスで（テン キーで相手先 を入力して）送 信する場合の送 信モードの初期 設定（基本モー ド、拡張モー ド）を設定しま す。	○	—	—	—	○	○

機能	説明	インター ネット ファクス	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	ダイレクト ファクス	設定	
						本体 操作 パネル	Page Scope Web Connection
メール設定 2							
POP3 サーバ	POP3 サーバの IP アドレスま たはホスト名を 設定します。 ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	—	—	—	○	○
POP3 ポート No.	POP3 サーバの ポート番号（1 ～ 65535）を設 定します。 ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	—	—	—	○	○
POP3 サーバ タイム アウト	POP3 サーバと の接続をタイム アウトするまで の時間（秒）を 設定します。 （30 秒～ 300 秒） ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	—	—	—	○	○
POP3 アカウント	POP3 サーバへ ログインする際 のアカウント名 を設定します。 ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	—	—	—	○	○
POP3 パスワード	POP3 サーバへ ログインする際 のパスワードを 設定します。 ネットワーク管 理者に問い合わ せてください。	○	—	—	—	○	○
自動受 信機能 設定	自動受信機能使 用時にメールを 確認する間隔 （分）を設定し ます。（OFF、1 分～ 60 分）	○	—	—	—	○	○

2.1 ネットワークの設定について

機能	説明	インター ネット ファクス	Scan to E-mail	Scan to Server (FTP)	ダイレクト ファクス	設定	
						本体 操作 パネル	Page Scope Web Connection
送信 アドレス	インターネット ファクス受信で エラーが発生し た場合に、エ ラー通知メー ルを転送する相手 先を設定しま す。	○	—	—	—	○	○
ヘッダー プリント	受信したメー ルをプリントす る場合、メー ルのヘッダー情 報をプリントす るかどうかを設 定します。	○	—	—	—	○	—
PageScope Web Connection 管理者モード：「スキャン」タブ							
ファイル 転送設定	Scan to Server (FTP) を使用 する場合に、送 信先の FTP サーバを登録し ます。送信先の FTP サーバの IP アドレス、 ディレクトリな どの設定を行 います。	—	—	○	—	—	○
PageScope Web Connection 管理者モード：「ネットワーク」タブの FTP と DNS 情報メニュー							
FTP コン フィギュ レーション	FTP プロキシ サーバの IP ア ドレスなどを設 定します。	—	—	●	—	—	○

*1：URL をメールで通知する場合は必要です。

*2：DHCP サーバによる自動取得もできます。

*3：ネットワーク上に使用可能な SMTP サーバがない場合は、IP アドレスを「0.0.0.0」に設定してください。

2.2 本体操作パネルからの設定について

本体操作パネルからネットワークの設定を行うことができます。
本体操作パネルでのネットワークの設定は、【ユーティリティ】
を押して表示されるユーティリティモードの各メニューで行い
ます。

ユーティリティモードで設定できる項目は以下の通りです。

メニュー	サブメニュー	設定項目
ネットワークセッティ	1 IP アドレス	ジブツェツク / コティ
	2 サブ ネットマスク	—
	3 ゲートウェイ	—
	4 DNS セッティ	キンシ / キョカ
	5 ゲートウェイ ソーシン	キンシ / キョカ
メール セッティ 1	1 ソーシンシャ メイ	—
	2 メール アドレス	—
	3 SMTP サーバ	—
	4 SMTP ポート No.	1~65535
	5 SMTP サーバ タイムアウト	30 ~ 300 (秒)
	6 テキスト ソーニウ	ON / OFF
	7 ケンメイ	—
	8 メール モード	キンシ / カクショウ
メール セッティ 2	1 POP3 サーバ	—
	2 POP3 ポート No.	1~65535
	3 POP3 サーバ タイムアウト	30 ~ 300 (秒)
	4 POP3 アカウント	—
	5 POP3 パスワード	—
	6 ジブツェツ シュン	ON / OFF
	7 テンソウ アドレス	—
	8 ヘッダー プリント	ON / OFF

2.3 ネットワーク設定

ネットワーク設定はユーティリティモードの「ネットワーク セッティ」メニューで行います。

ここでは、以下の機能の設定方法について説明しています。

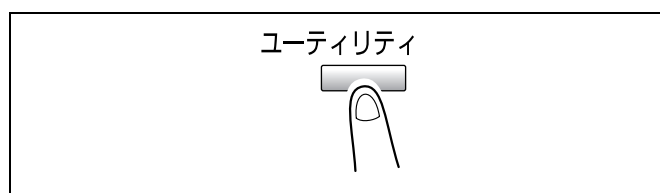
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- DNS 設定
- ゲートウェイ送信

■ IP アドレスを設定する

1

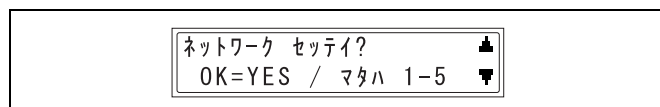
【ユーティリティ】を押します。

ユーティリティモードのメニューが表示されます。



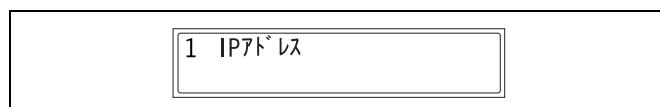
2

【▼】、【▲】を押し、「ネットワーク セッティ」を表示させます。



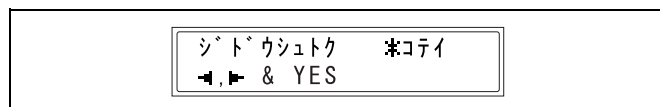
3

テンキーの【1】を押し、「IP アドレス」を選択します。



4

【◀】、【▶】で「ジドウウシュク」または「コティ」を選択し、【Yes 決定】を押します。



- 「ジドウウシュク」を選択すると、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得します。「ネットワーク セッティ」画面が表示されます。
- 「コティ」を選択すると、IP アドレス入力画面が表示されます。(手順 5 へ)

ひとこと

ネットワーク設定を行う前に、必要な情報をネットワーク管理者に確認してください。

詳しく説明します

「ジドウウシュク」は、ネットワーク内に DHCP サーバがある場合のみ有効です。「ジドウウシュク」を選択したときは、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する必要はありません。

5

テンキーで本機の IP アドレスを入力します。

ADDR=192.168.0 .100
OK=YES

6

【Yes 決定】を押します。

「ネットワーク セッテイ」画面が表示されます。本機の設定を有効にするには、本体の電源を OFF/ON し、本体を再起動させる必要があります。

7

「ネットワーク セッテイ」画面で【No】または【リセット】を押します。「サィスタート シテダサイ デンゲン オフ / オン シテダサイ」というメッセージが表示されます。

8

本体の電源スイッチを OFF/ON し、本体を再起動させます。

■ サブネットマスクを設定する

1

ユーティリティモードの「ネットワーク セッテイ」メニューでテンキーの【2】を押し、「サブ ネット マスク」を選択します。

2 サブ ネット マスク

2

テンキーでサブネットマスク値を入力します。

SUB=255.255.255.0
OK=YES

3

【Yes 決定】を押します。

「ネットワーク セッテイ」画面が表示されます。本機の設定を有効にするには、本体の電源を OFF/ON し、本体を再起動させる必要があります。

4

「ネットワーク セッテイ」画面で【No】または【リセット】を押します。「サィスタート シテダサイ デンゲン オフ / オン シテダサイ」というメッセージが表示されます。

5

本体の電源スイッチを OFF/ON し、本体を再起動させます。

ひとこと

IP アドレスについてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

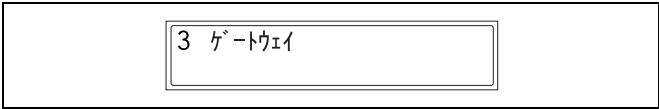
ひとこと

サブネットマスク値についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

■ ゲートウェイを設定する

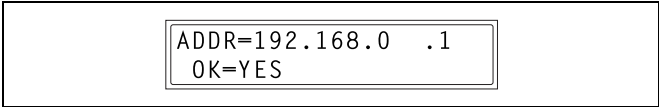
1

ユーティリティモードの「ネットワーク セッティ」メニューでテンキーの【3】を押し、「ゲートウェイ」を選択します。

3 ゲートウェイ

2

テンキーでゲートウェイの IP アドレスを入力します。

ADDR=192.168.0 .1
OK=YES

3

【Yes 決定】を押します。

「ネットワーク セッティ」画面が表示されます。本機の設定を有効にするには、本体の電源を OFF/ON し、本体を再起動させる必要があります。

4

「ネットワーク セッティ」画面で【No】または【リセット】を押します。「サィｽﾀｰﾄ シｸﾀﾞサイ デンゲン オフ/オン シｸﾀﾞサイ」というメッセージが表示されます。

5

本体の電源スイッチを OFF/ON し、本体を再起動させます。

ひとこと

ゲートウェイアドレスについてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

■ DNS を設定する

1

ユーティリティモードの「ネットワーク セッテイ」メニューでテンキーの【4】を押し、「DNS セッテイ」を選択します。

4 DNSセッテイ

2

【◀】、【▶】で「キソ」または「キヨカ」を選択し、【Yes 決定】を押しします。

*キソ キヨカ
◀ ▶ & YES

- 「キソ」を選択すると、「ネットワーク セッテイ」画面が表示されます。
- 「キヨカ」を選択すると、DNS サーバの IP アドレス入力画面が表示されます。(手順 3 へ)

3

テンキーで DNS サーバの IP アドレスを入力します。

ADDR=192.168.0 .10
OK=YES

4

【Yes 決定】を押しします。

「ネットワーク セッテイ」画面が表示されます。本機の設定を有効にするには、本体の電源を OFF/ON し、本体を再起動させる必要があります。

5

「ネットワーク セッテイ」画面で【No】または【リセット】を押します。「サイスタート シテダサイ デンゲン オフ/オン シテダサイ」というメッセージが表示されます。

6

本体の電源スイッチを OFF/ON し、本体を再起動させます。



詳しく説明します

変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルシマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ ゲートウェイ送信を設定する

1

ユーティリティモードの「ネットワーク セッティ」メニューでテンキーの【5】を押し、「ゲートウェイ ソウシ」を選択します。

5 ゲートウェイ ソウシ

2

【◀】、【▶】で「キソ」または「キョカ」を選択し、【Yes 決定】を押しします。

*キソ キョカ
◀, ▶ & YES

「ネットワーク セッティ」画面が表示されます。

詳しく説明します

変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押しします。「セッティヲキャンセルスルカ？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押ししてください。

2.4 メール設定（メール設定 1 メニュー）

メール設定 1 の設定は、ユーティリティモードの「メール セッテ 1」メニューで行います。

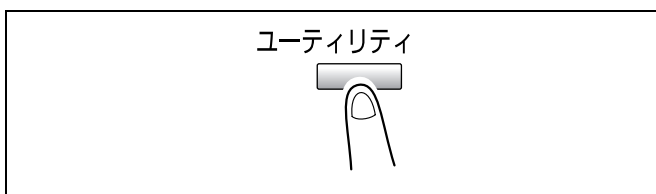
ここでは、以下の機能の設定方法について説明しています。

- 送信者名
- メールアドレス
- SMTP サーバ
- SMTP ポート番号
- SMTP サーバタイムアウト
- テキスト挿入
- 件名
- メールモード

■ 送信者名を登録する

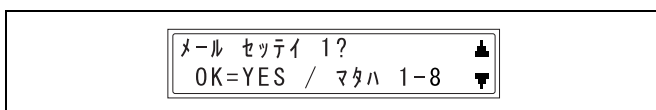
1

【ユーティリティ】を押します。ユーティリティモードのメニューが表示されます。



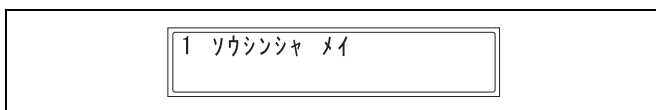
2

【▼】、【▲】を押し、「メール セッテ 1」を表示させます。



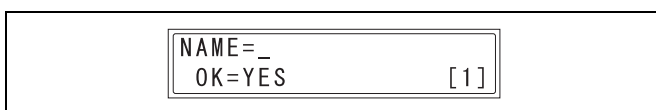
3

テンキーの【1】を押し、「ソウシンシャ メイ」を選択します。



4

送信者名を入力します。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

送信者名は最大 20 文字まで登録できます。

5

【Yes 決定】を押します。

「メール セッテ 1」画面に戻ります。

■ 送信元メールアドレスを登録する

1

ユーティリティメニューの「メール セッテ 1」画面でテンキーの【2】を押し、「メール アドレス」を選択します。

2 メール アドレス

2

本機のメールアドレスを入力します。

ADDR=machine@test.lo
OK=YES [A]

3

【Yes 決定】を押します。

「メール セッテ 1」画面に戻ります。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテ 1 キャンセル シマスカ?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

参照

文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。

詳しく説明します

- 送信元メールアドレスは最大 64 文字まで入力できます。
- 本機でメールを受信しない場合は、管理者のメールアドレスを入力します。

ひとこと

メールアドレスについては、あらかじめネットワーク管理者に取得依頼をしてください。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテ 1 キャンセル シマスカ?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ SMTP サーバアドレスを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテ 1」画面でテンキーの【3】を押し、「SMTP サーバ」を選択します。

3 SMTP サーバ

2

SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

ADDR=192.168.0.50
OK=YES [1]

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテ 1」画面に戻ります。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。



詳しく説明します

ホスト名は最大 64 文字まで入力できます。

ひとこと

- ホスト名で SMTP サーバを指定する場合、DNS 設定がされている必要があります。
- SMTP サーバの IP アドレス、ホスト名についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。



詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテ 1 キャンセル しますか？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ SMTP ポート番号を設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 1」画面でテンキーの【4】を押し、「SMTP ポート No.」を選択します。

4 SMTP ポート No.

2

SMTP サーバのポート番号を入力します。

ポート No. = 25
OK=YES

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 1」画面に戻ります。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10) を参照。



詳しく説明します

ポート番号は 1 から 65535 の間で設定できます。通常は、ポート番号 25 を使用します。



詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルシマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ SMTP サーバタイムアウトを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 1」画面でテンキーの【5】を押し、「SMTP サーバ タイムアウト」を選択します。

5 SMTP サーバ タイムアウト

2

タイムアウト（秒数）を入力します。

タイマー= 60sec (30-300)
OK=YES

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 1」画面に戻ります。

**参照**

文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。

**詳しく説明します**

タイムアウトは 30 秒～ 300 秒の範囲で設定します。

**詳しく説明します**

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマスか?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ テキスト挿入を設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 1」画面でテンキーの【6】を押し、「テキスト ソウニユウ」を選択します。

6 テキスト ソウニユウ

2

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、【Yes 決定】を押します。

*ON OFF
 ◀ ▶ & YES

「メール セッテイ 1」画面に戻ります。

■ メールの件名を設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 1」画面でテンキーの【7】を押し、「ケンメイ」を選択します。

7 ケンメイ

2

メールの件名を入力します。

ケンメイ=_
OK=YES

[1]

3

【Yes 決定】をます。

「メール セッテイ 1」画面に戻ります。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマスカ?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

参照

文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10) を参照。

詳しく説明します

件名は最大 20 文字まで登録できます。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマスカ?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ メールモードを設定する

メールモードは、インターネットファクス送信に関する設定です。メールモードの設定をすることで、インターネットファクスで送信するスキャンデータの原稿の大きさ、送信画質、圧縮符号化方式の上限値のデフォルト値を指定することができます。

なお、ここで指定した上限値は、テンキーでインターネットファクスの相手先メールアドレスを入力する場合にのみ上限値のデフォルト値となります。インターネットファクスの送信時に、メールモードの設定を変更しない場合は、デフォルト値で送信されます。（「メールモードの設定変更をする」(p. 6-8)を参照。）

ワンタッチダイアル、短縮ダイアルでインターネットファクスの相手先メールアドレスを指定する場合は、ワンタッチダイアル、短縮ダイアルを登録する際に指定したメールモードの設定が上限値となります。

機能	説明	
	基本モード	拡張モード
送信サイズ（上限）	A4	A4、B4、A3
送信画質（上限）	FINE（ファイン）	FINE（ファイン）、 S.FINE（スーパーファイン）
圧縮符号化方式	MH	MH、MR、MMR

<基本モード>

インターネットファクスでは、受信側の装置がサポートしていない送信サイズ、送信画質および圧縮符号化方式を使用して送信した場合、受信側で受信データを見ることができません。基本モードを選択してインターネットファクスを送信する場合、送信サイズ、送信画質、圧縮符号化方式が限定されますが、すべてのインターネットファクスが受信可能な設定での送信であるため、受信側のインターネットファクス機の受信能力がわからない場合は基本モードで送信することをおすすめします。

<拡張モード>

拡張モードを選択してインターネットファクスを送信する場合、基本モードでは選択できない送信サイズ、送信画質、圧縮符号化方式でスキャンデータを送信することができます。受信側のインターネットファクス機の受信能力がわかっている場合は、拡張モードを選択することが可能です。

1

ユーティリティモードの「メール セッテ 1」画面でテンキーの【8】を押し、「メール モード」を選択します。

8 メール モード

詳しく説明します

インターネットファクス送信時に、メールモードの上限値を超える設定をすることが可能ですが、実際に送信されるスキャンデータは、メールモードで指定した上限値が優先されます。例えば、メールモードで基本モードを選択している場合、送信画質の上限値はFINEです。（表参照）メールモードで基本モードを選択している状態でも、インターネットファクス送信設定時に、上限値を超えるS.FINEを選択することは可能ですが、実際に送信されるスキャンデータは、メールモードで指定した上限値が優先され、FINEとして送信されます。

参照

「本体操作パネルからの登録」(p. 3-3)、「PageScope Web Connectionからの登録」(p. 3-10)を参照。

2

2

【◀】、【▶】で読み取りモード（「林」または「カチョウ」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

*林	カチョウ
◀, ▶ & YES	

- 「カチョウ」を選択すると、送信サイズの上限を設定する画面が表示されます。（手順3へ）
- 「林」を選択すると、「メール セッテイ 1」画面に戻ります。

3

【◀】、【▶】で送信サイズの上限（「A4」、「B4」、「A3」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

A4	B4	*A3
◀, ▶ & YES		

【Yes 決定】を押すと、送信画質の上限を設定する画面が表示されます。

4

【◀】、【▶】で送信画質の上限（「FINE」または「S.FINE」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

FINE	*S.FINE
◀, ▶ & YES	

【Yes 決定】を押すと、圧縮符号化方式を設定する画面が表示されます。

5

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

*MH	MR	MMR
◀, ▶ & YES		

6

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 1」画面に戻ります。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

2.5 メール設定（メール設定 2 メニュー）

メール設定 2 の設定は、ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」メニューで行います。

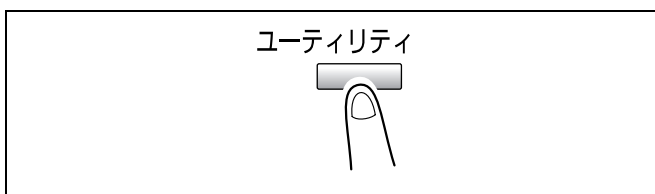
ここでは、以下の機能の設定方法について説明しています。

- POP3 サーバ
- POP3 ポート番号
- POP3 サーバタイムアウト
- POP3 アカウント
- POP3 パスワード
- 自動受信設定
- 転送アドレス
- ヘッダープリント

■ POP3 サーバアドレスを設定する

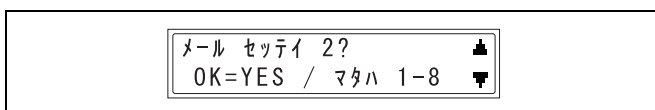
1

【ユーティリティ】を押します。ユーティリティモードのメニューが表示されます。



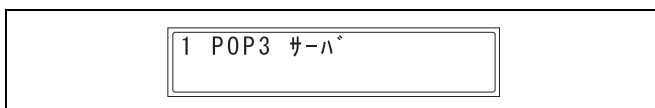
2

【▼】、【▲】を押し、「メール セッテイ 2」を表示させます。



3

テンキーの【1】を押し、「POP3 サーバ」を選択します。



4

POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

ADDR=192.168.0.50
OK=YES [1]



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10) を参照。



ホスト名は最大 64 文字まで入力できます。

ひとこと

- ホスト名で POP3 サーバを指定する場合、DNS 設定がされている必要があります。
- POP3 サーバの IP アドレス、ホスト名についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。



設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッティヲキャンセル シマスカ?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

5

【Yes 決定】を押します。
「メール セッティ 2」画面に戻ります。

■ POP3 ポート番号を設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッティ 2」画面でテンキーの【2】を押し、「POP3 ポート No.」を選択します。

2 POP3 ポート No.

2

POP3 サーバのポート番号を入力します。

ポート No. = 110
OK=YES



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10) を参照。



ポート番号は 1 から 65535 の間で設定できます。通常は、ポート番号 110 を使用します。

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。

■ POP3 サーバタイムアウトを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【3】を押し、「POP3 サーバ タイムアウト」を選択します。

3 POP3 サーバ タイムアウト

2

タイムアウト（秒数）を入力します。

タイマー= 60sec (30-300)
OK=YES

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルしますか？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

参照

文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。

詳しく説明します

タイムアウトは 30 秒～ 300 秒の範囲で設定します。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルしますか？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

2

■ POP3 アカウントを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【4】を押し、「POP3 アカウント」を選択します。

4 POP3 アカウント

2

アカウント名を入力します。

NAME=admin
OK=YES [A]

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10) を参照。



詳しく説明します

アカウント名は最大 64 文字まで入力できます。




詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ POP3 パスワードを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【5】を押し、「POP3 パスワード」を選択します。



2

パスワードを入力します。



3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。



パスワードは最大 32 文字まで入力できます。

ひとこと

パスワードについてはネットワーク管理者に問い合わせてください。



設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルシマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ 自動受信を設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【6】を押し、「ジドゥ ジュシ」を選択します。

6 ジドゥ ジュシ

2

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、【Yes 決定】を押します。

ON *OFF
◀, ▶ & YES

- 「ON」を選択すると、メールを確認する間隔を設定する画面が表示されます。（手順3へ）
- 「OFF」を選択すると、「メール セッテイ 2」画面に戻ります。

3

メールを確認する間隔（分）を設定します。

カンカケ=15min(1-60)
OK=YES

4

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。

詳しく説明します

メールを自動的に確認する間隔は、1分～60分の範囲で設定します。

詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセルシマス?」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

■ 結果転送アドレスを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【7】を押し、「テンソウ アドレス」を選択します。

7 テンソウ アドレス

2

エラーを通知する相手先のメールアドレスを入力します。

ADDR=admin@test.local
OK=YES [A]

3

【Yes 決定】を押します。
「メール セッテイ 2」画面に戻ります。

■ ヘッダープリントを設定する

1

ユーティリティモードの「メール セッテイ 2」画面でテンキーの【8】を押し、「ヘッダー プリント」を選択します。

8 ヘッダー プリント

2

【◀】、【▶】で「ON」または「OFF」を選択し、【Yes 決定】を押します。

ON *OFF
◀, ▶ & YES

「メール セッテイ 2」画面に戻ります。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。



詳しく説明します

転送アドレスは最大 64 文字まで入力できます。通常は、管理者のメールアドレスを入力します。



詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマスカ？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。



詳しく説明します

設定変更を適用する前にキャンセルしたい場合は、【No】を押します。「セッテイヲキャンセル シマスカ？」のメッセージが表示されたら、【Yes 決定】を押してください。

2.6 PageScope Web Connection からの設定について

PageScope Web Connection からネットワークの設定を行うことができます。

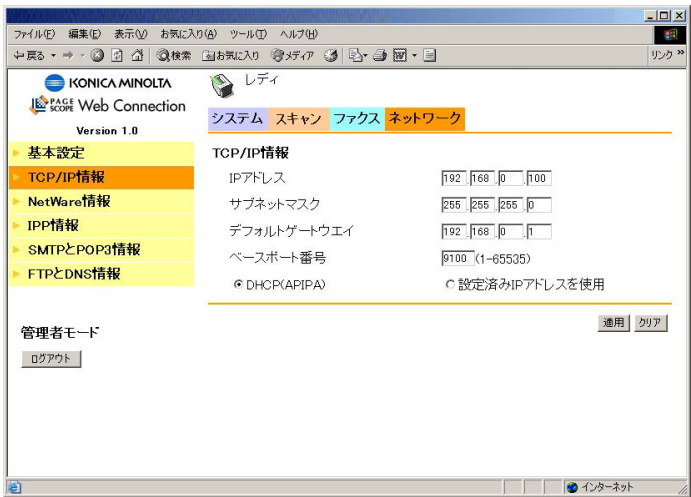
- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 管理者モードにログインします。
- 3 PageScope Web Connection で設定を行うには、各タブをクリックして各必要項目を設定し、[適用] ボタンをクリックします。
 - 「ネットワーク」タブの設定を変更するときは、[適用] ボタンをクリックして「更新完了」と表示された後に、「システム」タブの「メンテナンス」メニューで「NIC/ プリンターコントローラーリセット」の [リセット] ボタンをクリックしないと、設定変更が有効になりません。



詳しく説明します

「PageScope Web Connection の使いかた」
(p. 1-13) を参照。

■ TCP/IP 情報



TCP/IP 情報

機能	説明
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	接続するネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。
ベースポート番号	RAW プリント時のポート番号を設定します。
DHCP(APIPA)	DHCP サーバまたは APIPA（Automatic Private IP Addressing）を使用して自動的に IP アドレスを割り当てる場合は、この項目を選択します。
設定済み IP アドレスを使用	固定 IP アドレスを使用する場合は、この項目を選択します。

■ SMTP と POP3 情報

KONICA MINOLTA
iBASE Web Connection
Version 1.0

システム スキャン ファクス ネットワーク

基本設定
TCP/IP情報
NetWare情報
IPP情報
SMTPとPOP3情報
FTPとDNS情報

管理者モード
ログアウト

SMTP設定

SMTPサーバアドレス

メールのタイトル

送信者名

eメールアドレス

ポート番号 (1-65535)

SMTPサーバタイムアウト 秒 (30-300)

インターネットファックス設定

基本モード ☒ A4/FINE/MHに固定
☐ 次の設定に依存する

最大の送信サイズ

最大解像度

符号化モード

POP3 設定

POP3サーバアドレス

アカウント

パスワード

自動受信モード

間隔 分 (1-60)

返信アドレス

ポート番号 (1-65535)

POP3サーバタイムアウト 秒 (30-300)

適用 クリア

インターネット

SMTP 設定

機能	説明
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。(64 文字まで)
メールのタイトル	スキャンデータをメールに添付して送信する場合の、デフォルトの件名 (Subject) を設定します。(20 文字まで)
送信者名	スキャンデータをメールに添付して送信する場合の、送信者名を設定します。(20 文字まで)
e メールアドレス	送信元メールアドレスを設定します。
ポート番号	SMTP サーバのポート番号を設定します。通常、ポート番号 25 を使用します。(1 ～ 65535)
SMTP サーバタイムアウト	SMTP サーバとの通信タイムアウト (30 秒 ～ 300 秒) を設定します。

インターネットファックス設定

機能	説明
基本モード／拡張モード	文書をインターネットファックスで（テンキーで相手先を入力して）送信する場合の送信モードの上限値（基本モード、拡張モード）を設定します。
最大送信サイズ	拡張モードで送信時の送信サイズの上限を設定します。（「A4」、「B4」、「A3」）
最大解像度	拡張モードで送信時の送信画質の上限を設定します。（「ファイン」または「スーパーファイン」）
符号化モード	拡張モードで送信するスキャンデータの圧縮符号化方式の上限値を設定します。（「MH」、「MR」、「MMR」）



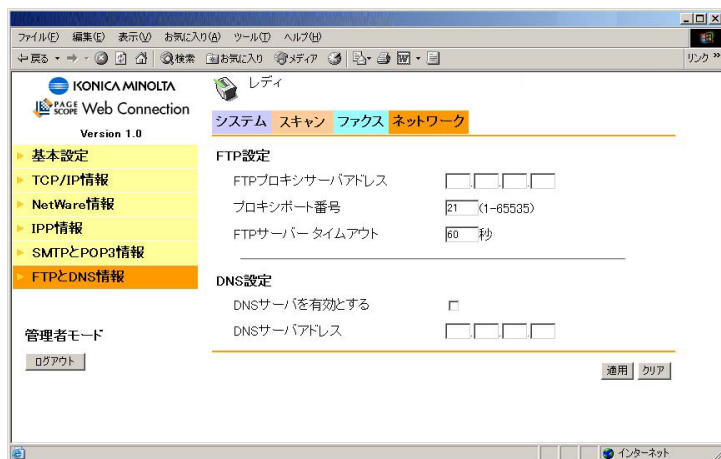
インターネットファックス設定の設定項目は、メールモードの設定項目と同じです。（「メールモードを設定する」（p. 2-19）を参照。）

2

POP3 設定

機能	説明
POP3 サーバアドレス	POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。（64 文字まで）
アカウント	POP3 サーバへログインする際のアカウント名を設定します。（64 文字まで）
パスワード	POP3 サーバへログインする際のパスワードを設定します。（32 文字まで）
自動受信モード	自動受信機能を使用するかしないかを設定します。
間隔	自動受信機能使用時にメールを確認する間隔（1 分～ 60 分）を設定します。
返信アドレス	エラーメッセージの返信先メールアドレスを設定します。エラーが発生した場合、ここで設定したメールアドレスにエラーメッセージが返信されます。通常は、管理者のメールアドレスを入力します。（64 文字まで）
ポート番号	POP3 サーバのポート番号を設定します。通常、ポート番号 110 を使用します。（1 ～ 65535）
POP3 サーバタイムアウト	POP3 サーバとの接続をタイムアウトするまでの時間（30 秒～ 300 秒）を設定します。

■ FTP と DNS 情報



FTP 設定

機能	説明
FTP プロキシサーバアドレス	プロキシサーバを使用して FTP サイトにアクセスする場合、プロキシサーバの IP アドレスを設定します。
プロキシポート番号	プロキシサーバのポート番号を設定します。(1 ~ 65535)
FTP サーバタイムアウト	FTP サーバとの接続をタイムアウトするまでの時間 (5 秒 ~ 300 秒) を設定します。

DNS 設定

機能	説明
DNS サーバを有効とする	名前解決に DNS を使用する場合にチェックします。
DNS サーバアドレス	上の「DNS サーバを有効とする」をチェックしたときは、DNS サーバの IP アドレスを設定します。

2.8 「ファクス」 タブ

■ ファクスの設定

KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
Version 1.0

システム ジョブ プリント スキャン **ファクス** ネットワーク

ユーザー登録
発信元 (32文字)
ファクス番号 (20文字)

送信設定
読取り濃度
画質
ハーフトーン
優先送信モード
ヘッダー

受信設定
メモリ受信モード
自動受信モード
呼び出し回数
フッタープリント
縮小受信
受信時のプリント
転送モード
転送先アドレス

インターネットファクス設定
基本モード
拡張モード
最大送信サイズ
最大解像度
符号化モード

クロードネットワーク受信
転送受信

通信設定
トーン/パルス
モニター音量
PSTN/PBX

レポート設定
通信管理レポート
予約レポート
送信結果レポート
受信結果レポート

使用不可のトレイ
トレイ1
トレイ2

メール設定
テキスト挿入

管理者モード
ログアウト

ページが表示されました

受信設定

機能	説明
転送モード	<p>受信したファクス文書を転送するかどうかを選択します。</p> <p>プリントのみ：転送しません。</p> <p>転送のみ：受信したファクス文書を指定したファクス番号またはメールアドレスに転送します。</p> <p>プリントと転送：受信したファクス文書を指定したファクス番号またはメールアドレスに転送すると同時に、本体でプリントします。</p>
転送先アドレス	<p>「転送モード」で「転送のみ」または「プリントと転送」に設定しているときの転送先アドレス（ファクス番号またはメールアドレス）を入力します。</p> <p>インターネットファックス設定</p> <p>基本モード／拡張モード：文書を転送する場合の送信モードの初期設定（基本モード／拡張モード）を設定します。</p> <p>最大送信サイズ：拡張モードで転送時の送信サイズの上限を設定します。（「A4」、「B4」、「A3」）</p> <p>最大解像度：拡張モードで転送時の送信画質の上限を設定します。（「ファイン」または「スーパーファイン」）</p> <p>符号化モード：拡張モードで転送するデータの圧縮符号化方式を設定します。（「MH」、「MR」、「MMR」）</p>

メール設定

機能	説明
テキスト挿入	<p>スキャンデータをメールに添付して送信する場合、画像データが添付されていることを説明する文章を挿入するかどうかを設定します。</p>

2.9 「スキャン」タブ

■ ファイル転送設定

No.	相手名	アドレス	削除
201	rohyonghee	192.168.0.200	削除
202	-	-	-
203	-	-	-
204	-	-	-
205	-	-	-
206	-	-	-
207	-	-	-
208	-	-	-
209	-	-	-
210	-	-	-

未登録の番号をクリックすると、以下の画面が表示されます。

相手名

FTPサーバアドレス

ディレクトリ

プロキシサーバを使用する ☐

リモートポート番号 21 (1-65535)

メール送信通知

メール通知を行う ☐

通知先アドレス

No.1

No.2

No.3

No.4

No.5

No.6

No.7

No.8

No.9

No.10

アカウント情報

☐ 匿名

☐ プライベートサイト

ユーザ名

パスワード

パスワードの再入力

ファイル送信先

機能	説明
相手名	ファイル送信先の名前を設定します。(20文字まで)
FTP サーバアドレス	スキャンデータを送信する FTP サイトのホスト名または IP アドレスを設定します。(64 文字まで)
ディレクトリ	スキャンデータを保存する FTP サイトのディレクトリを設定します。(128 文字まで)
プロキシサーバを使用する	プロキシサーバ経由で FTP サイトにアクセスする場合にチェックします。(プロキシサーバの設定については、「FTP と DNS 情報」(p. 2-32) を参照してください。)
リモートポート番号	プロキシサーバを使用しない場合のリモートホストのポート番号 (1 ~ 65535) を設定します。通常、ポート番号 21 を使用します。

メール送信通知

機能	説明
メール通知を行う	スキャンデータを FTP サーバにアップロードする際メールで通知を行う場合にチェックします。
通知先アドレス	メール通知を行う場合に送信先のメールアドレス (10 箇所まで) を設定します。(64 文字まで)

アカウント情報

機能	説明
匿名	送信先の FTP サイトが anonymous FTP サーバの場合に選択します。
プライベートサイト	送信先の FTP サイトがユーザー認証を必要とする場合に選択し、以下の項目を設定します。 ユーザ名：FTP サイトへログインする際のユーザ名 (20 文字まで) パスワード：FTP サイトへログインするユーザ名のパスワード (20 文字まで) パスワードの再入力：確認としてもう一度同じパスワードを入力します。

第 3 章

送信先の登録

送信先のアドレスの登録について説明します。

3.1 送信先の登録について	3-2
3.2 本体操作パネルからの登録	3-3
3.3 PageScope Web Connection からの登録	3-10

3.1 送信先の登録について

送信先の登録は、本体操作パネル、PageScope Web Connection のどちらからでも登録することができます。

メールアドレス 登録先	本体操作パネル	PageScope Web Connection
○：設定可能、－：設定不可能		
ワンタッチダイヤル キー	○	○
短縮ダイヤル番号	○	○
グループダイヤルキー	○	○
短縮ダイヤル番号 (FTP サーバアドレス 登録)	－	○

3.2 本体操作パネルからの登録

■ ワンタッチダイヤルの登録

1

【ユーティリティ】を押します。

2

【▼】を押し、「ファクス トウロク」を表示させます。

ファクス トウロク?

OK=YES / マタハ 1-7

3

テンキーの【1】を押し、「ワンタッチ ダイヤル」を選択します。

1 ワンタッチ ダイヤル

4

相手先を登録したいワンタッチダイヤルキーを押します。

-トウロク スル キー ヲ センタク-

5

相手先名を入力します。

NAME=AAA TOKYO_
OK=YES [A]

6

【Yes 決定】を押します。



本体操作パネルでのメールアドレスの変更／削除のしかたについては、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

相手先名は最大 20 文字まで登録できます。

3

7

相手先のメールアドレスを入力します。

✉=user01@test.local
OK=YES [A]

8

【Yes 決定】を押します。

9

【◀】、【▶】でメールモード（「キホン」または「カクチョウ」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

*キホン カクチョウ
◀, ▶ & YES

- 各ワンタッチキー用のメールモード設定です。
- 「カクチョウ」を選択すると、送信サイズの上限を設定する画面が表示されます。（手順 10 へ）
- 「キホン」を選択した場合は、手順 14 へ。

10

【◀】、【▶】で送信サイズの上限（「A4」、「B4」、「A3」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

A4 B4 *A3
◀, ▶ & YES

送信画質の上限を設定する画面が表示されます。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」（p. 1-10）を参照。



詳しく説明します

- メールアドレスは最大 64 文字まで入力できます。
- 数字のみを入力した場合は、ファクス番号とみなされます。
- FTP サーバアドレスの登録はできません。登録は PageScope Web Connection から行ってください。（「短縮ダイヤル（FTP サーバ）の登録」（p. 3-18）参照）

ひとこと

メールアドレスに「@」が含まれていない場合は、【Yes 決定】は無効になります。



「メールモードを設定する」（p. 2-19）を参照。



詳しく説明します

手順 9 から手順 13 のメールモードの設定は、インターネットファクス用の設定です。インターネットファクス送信手順（「インターネットファクスの使いかた」（p. 6-1））にしたがって送信した場合に有効になります。Scan to E-mail 送信手順（「Scan to E-mail の使いかた」（p. 4-1））にしたがって送信した場合には、手順 9 から手順 13 の設定は送信方法に反映されません。

11

【◀】、【▶】で送信画質の上限（「FINE」または「S.FINE」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

FINE *S.FINE ◀, ▶ & YES

圧縮符号化方式を設定する画面が表示されます。

12

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

*MH MR MMR ◀, ▶ & YES

13

【Yes 決定】を押します。

設定内容が登録されます。引き続きワンタッチダイヤルキーに登録する場合は、手順 4 ～ 13 を繰り返します。

14

【No】を押して登録を終了します。

ー トウロク スル キー ヲ センタケー (トウロクカンリョウ=NO)
--

「ファクス トウロク」画面に戻ります。

■ 短縮ダイヤルの登録

1

【ユーティリティ】を押します。

2

【▼】を押し、「ファクス トウロク」を表示させます。

ファクス トウロク? ▲ OK=YES / マタハ 1-7 ▼
--

3

テンキーの【2】を押し、「タンシュク ダイヤル」を選択します。

2 タンシュク ダイヤル

4

相手先を登録したい短縮番号3桁をテンキーで入力します。(例：011)

タンシュク ダイヤル=011

5

相手先名を入力します。

NAME=AAA TOKYO_
OK=YES [A]

6

【Yes 決定】を押します。

7

相手先のメールアドレスを入力します。

E=user01@test.local
OK=YES [A]

8

【Yes 決定】を押します。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

相手先名は最大 20 文字まで登録できます。



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

- メールアドレスは最大 64 文字まで入力できます。
- 数字のみを入力した場合は、ファクス番号とみなされます。
- FTP サーバアドレスの登録はできません。登録は PageScope Web Connection から行ってください。(「短縮ダイヤル (FTP サーバ) の登録」(p. 3-18) 参照)

ひとこと

メールアドレスに「@」が含まれていない場合は、【Yes 決定】は無効になります。

9

【◀】、【▶】でメールモード（「キホン」または「カクチャ」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

*キホン	カクチャ
◀, ▶ & YES	

- 各短縮ダイヤルキー用のメールモード設定です。
- 「カクチャ」を選択すると、送信サイズの上限を設定する画面が表示されます。（手順 10 へ）
- 「キホン」を選択した場合は、手順 14 へ。

10

【◀】、【▶】で送信サイズの上限（「A4」、「B4」、「A3」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

A4	B4	*A3
◀, ▶ & YES		

送信画質の上限を設定する画面が表示されます。

11

【◀】、【▶】で送信画質の上限（「FINE」または「S.FINE」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

FINE	*S.FINE
◀, ▶ & YES	

圧縮符号化方式を設定する画面が表示されます。

12

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

*MH	MR	MMR
◀, ▶ & YES		

13

【Yes 決定】を押します。

設定内容が登録されます。引き続き短縮ダイヤルに登録する場合は、手順 4 ～ 13 を繰り返します。



「メールモードを設定する」(p. 2-19) を参照。



詳しく説明します

手順 9 から手順 13 のメールモードの設定は、インターネットファクス用の設定です。インターネットファクス送信手順（「インターネットファクス送信手順（「インターネットファクスの使いかた」（p. 6-1）にしたがって送信した場合に有効になります。Scan to E-mail 送信手順（「Scan to E-mail の使いかた」（p. 4-1）にしたがって送信した場合には、手順 9 から手順 13 の設定は送信方法に反映されません。

3

14

【No】を押して登録を終了します。

タンシュク ダイヤル=_
 (トウロクカンリョウ=N0)

「ファクス トウロク」画面に戻ります。

■ グループダイヤルの登録

1

【ユーティリティ】を押します。

2

【▼】を押し、「ファクス トウロク」を表示させます。

ファクス トウロク? ▲
 OK=YES / マタハ 1-7 ▼

3

テンキーの【3】を押し、「グループ ダイヤル」を選択します。

3 グループ ダイヤル

4

グループダイヤルを登録したいワンタッチダイヤルキーを押します。

トウロク スル キーヲ センタクー

5

グループ名を入力し、【Yes 決定】を押します。

グループ メイ=1_
 OK=YES [1]



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

グループは最大 20 文字まで登録できます。

6

ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号で相手先を指定します。

No. 001=ワンタッチダイヤル01

7

【Yes 決定】を押します。

No. 001=AAA TOKYO
OK=YES (カンリョウ=スタート)

- すべての相手先の指定が終わるまで、手順6～7を繰り返します。

8

相手先の指定が終了したら【スタート】を押します。

No. 005=
(カンリョウ=スタート)

- 設定内容が登録されます。引き続きグループダイヤルに登録する場合は、手順4～8を繰り返します。

9

【No】を押して登録を終了します。

トウロク スル キー ヲ センター
(トウロクカンリョウ=NO)

「ファクス トロク」画面に戻ります。



登録済みメールアドレスの変更／削除のしかたについては、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。



詳しく説明します

- 現在表示されている相手先を取り消したいときは、【No】を押して指定しないしてください。
- FTP サーバアドレスをグループ登録することはできません。



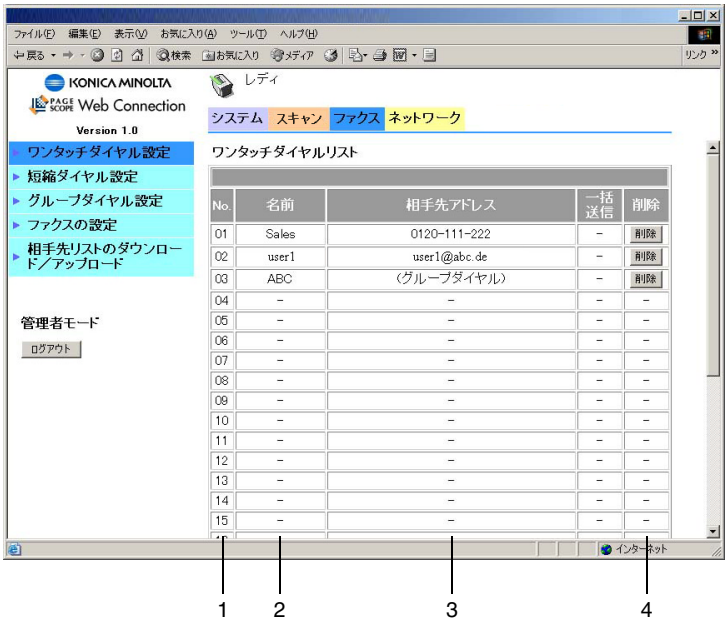
- 1つのグループダイヤルにつき50局まで登録できます。
- グループダイヤルの中に、グループダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルキーを指定できます。その場合、指定したワンタッチダイヤルキー（グループダイヤル）中に登録されている局数が追加されます。

3

3.3 PageScope Web Connection からの登録

■ ワンタッチダイヤルの登録

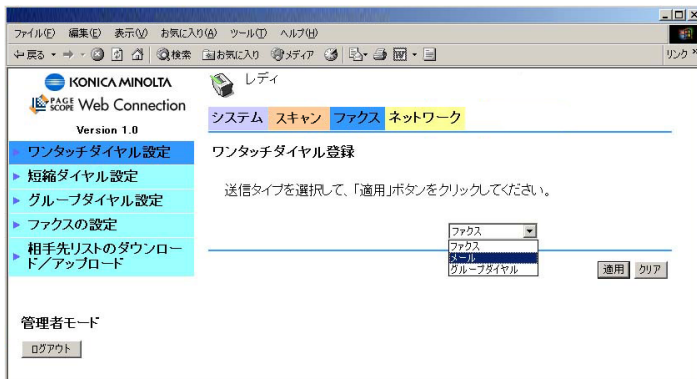
「ファクス」タブの「ワンタッチダイヤル設定」メニューで、本機のワンタッチダイヤルを設定できます。



1	No.	ワンタッチダイヤルの番号（01 ～ 27）
2	名前	ワンタッチダイヤルに設定されている相手先の名前
3	相手先アドレス	ワンタッチダイヤルに登録されている相手先。 登録されている相手先の種類によって、ファクス番号またはメールアドレスが表示されます。
4	[削除] ボタン	ボタンをクリックすると、そのワンタッチダイヤルが削除されます。

■ ワンタッチダイヤルを新たに登録する

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 管理者モードにログインします。
- 3 「ファクス」タブの「ワンタッチダイヤル設定」メニューをクリックします。
- 4 新たに相手先を登録したいワンタッチダイヤルの番号をクリックします。
ワンタッチダイヤル登録画面が表示されます。



- 5 ドロップダウンリストで「メール」を選択し、[適用] ボタンをクリックします。



「PageScope Web Connection の使いかた」(p. 1-13) を参照。

3

6

「メール送信先」で相手名と相手先メールアドレスを入力して、[適用] ボタンをクリックします。

メール送信先

機能	説明
相手名	ワンタッチダイヤルに登録する名前を設定します。(20 文字まで)
メールアドレス	相手先のメールアドレスを設定します。(64 文字まで)

インターネットファックス設定

各ワンタッチキー用のメールモード設定を行います。

機能	説明
基本モード／拡張モード	文書をインターネットファックス送信する際のメールモード（基本モード、拡張モード）を設定します。
最大送信サイズ	拡張モードで送信時の送信サイズの上限を設定します。（「A4」、「B4」、「A3」）
最大解像度	拡張モードで送信時の送信画質の上限を設定します。（「ファイン」または「スーパーファイン」）
符号化モード	拡張モードで送信するスキャンデータの圧縮符号化方式の上限値を設定します。（「MH」、「MR」、「MMR」）

詳しく説明します

FTP サーバアドレスの登録はできません。登録は「スキャン」タブから行ってください。（「短縮ダイヤル（FTP サーバ）の登録」（p. 3-18）参照）

詳しく説明します

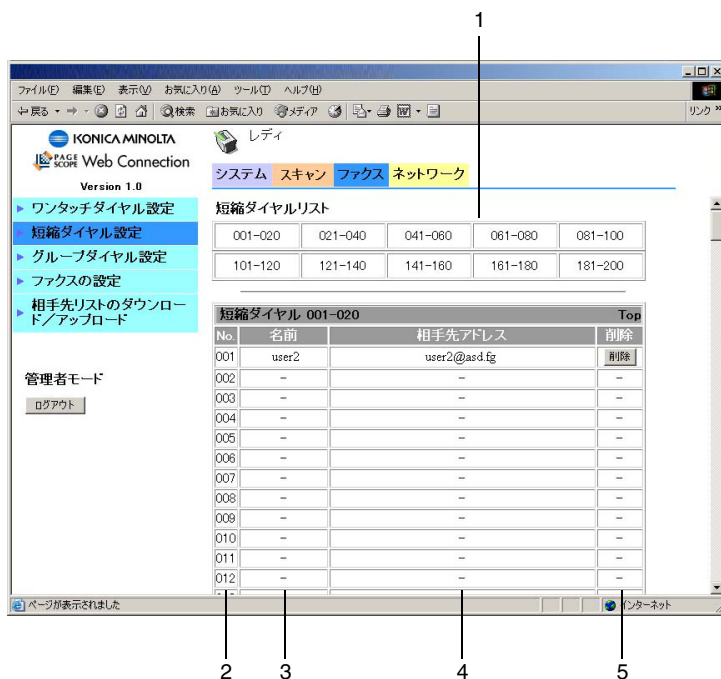
インターネットファックス設定での設定は、インターネットファックス送信手順（「インターネットファックスの使いかた」（p. 6-1）参照）にしたがって送信した場合に有効になります。Scan to E-mail 送信手順（「Scan to E-mail の使いかた」（p. 4-1）参照）にしたがって送信した場合には、反映されません。



「メールモードを設定する」（p. 2-19）を参照。

■ 短縮ダイヤルの登録

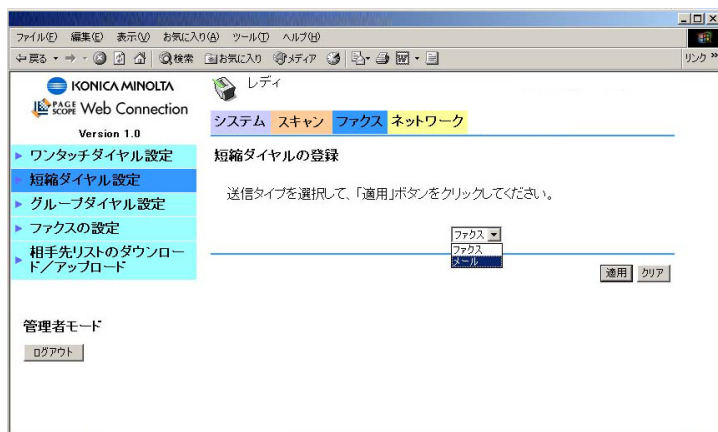
「ファクス」タブの「短縮ダイヤル設定」メニューで、本機の短縮ダイヤルを設定できます。



1	短縮ダイヤルリスト	インデックス番号をクリックすると、対応する短縮ダイヤルのリストにジャンプします。
2	No.	短縮ダイヤル番号 (001 ~ 200)
3	名前	短縮ダイヤルに登録されている相手先の名前
4	相手先アドレス	短縮ダイヤルに登録されている相手先。登録されている相手先の種類によって、ファクス番号またはメールアドレスが表示されます。

■ 短縮ダイヤルを新たに登録する

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 管理者モードにログインします。
- 3 「ファクス」タブの「短縮ダイヤル設定」メニューをクリックします。
- 4 新たに相手先を登録したい短縮ダイヤルの番号をクリックします。短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。



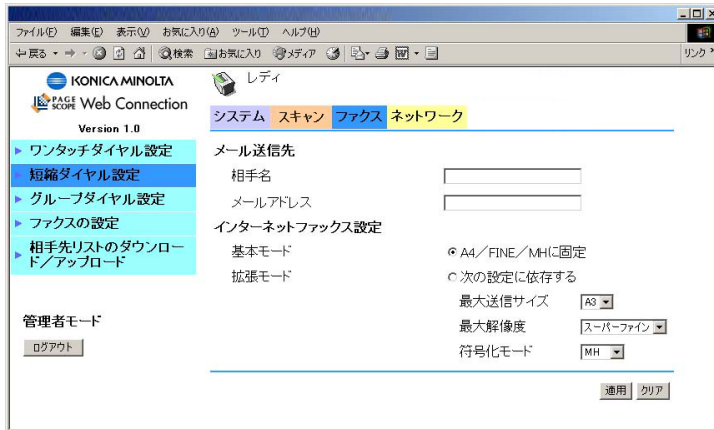
- 5 ドロップダウンリストで「メール」を選択し、[適用] ボタンをクリックします。



「PageScope Web Connection の使いかた」(p. 1-13) を参照。

6

「メール送信先」で相手名と相手先メールアドレスを入力して、[適用] ボタンをクリックします。



メール送信先

機能	説明
相手名	短縮ダイヤルに登録する名前を設定します。(20 文字まで)
メールアドレス	相手先のメールアドレスを設定します。(64 文字まで)

インターネットファックス設定

各短縮ダイヤルキー用のメールモード設定を行います。

機能	説明
基本モード／拡張モード	文書をインターネットファックス送信する際のメールモード（基本モード、拡張モード）を設定します。
最大送信サイズ	拡張モードで送信時の送信サイズの上限を設定します。（「A4」、「B4」、「A3」）
最大解像度	拡張モードで送信時の送信画質の上限を設定します。（「ファイン」または「スーパーファイン」）
符号化モード	拡張モードで送信するスキャンデータの圧縮符号化方式の上限値を設定します。（「MH」、「MR」、「MMR」）

詳しく説明します

FTP サーバアドレスの登録はできません。登録は「スキャン」タブから行ってください。（「短縮ダイヤル（FTP サーバ）の登録」（p. 3-18）参照）

3

詳しく説明します

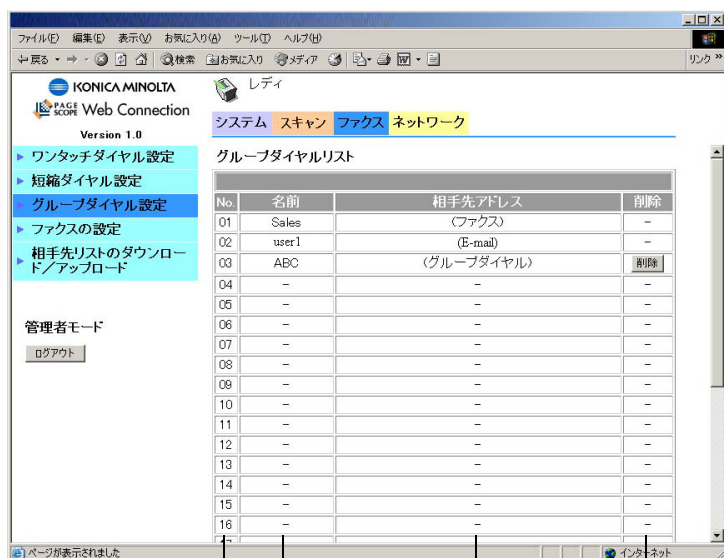
インターネットファックス設定での設定は、インターネットファックス送信手順（「インターネットファックスの使いかた」（p. 6-1）参照）にしたがって送信した場合に有効になります。Scan to E-mail 送信手順（「Scan to E-mail の使いかた」（p. 4-1）参照）にしたがって送信した場合には、反映されません。

参照

「メールモードを設定する」（p. 2-19）を参照。

■ グループダイヤルの登録

「ファクス」タブの「グループダイヤル設定」メニューで、本機のグループダイヤルを設定できます。



1 2 3 4

1	No.	ワンタッチダイヤルの番号 (01 ~ 27)
2	名前	グループダイヤルが設定されているワンタッチダイヤルでは、グループ名が表示されます。
3	相手先アドレス	グループダイヤルが設定されているワンタッチダイヤルでは、「(グループダイヤル)」と表示されます。
4	[削除] ボタン	ボタンをクリックすると、グループダイヤルが設定されているワンタッチダイヤルが削除されます。

■ グループダイヤルを新たに登録する

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 管理者モードにログインします。
- 3 「ファクス」タブの「グループダイヤル設定」メニューをクリックします。



「PageScope Web Connection の使いかた」
(p. 1-13) を参照。

4

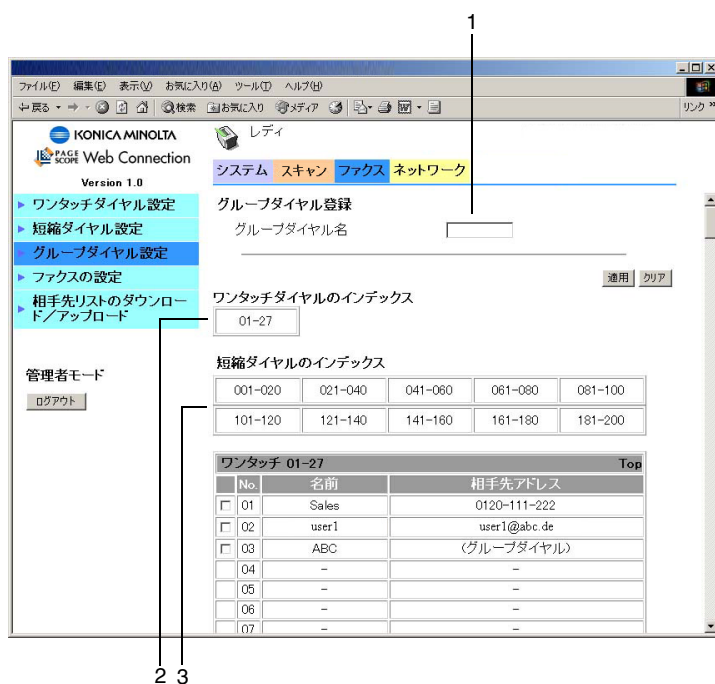
新たに相手先を登録したいグループダイヤルの番号をクリックします。

5

グループダイヤル登録画面が表示されます。グループダイヤルに登録する相手先（50 局まで）は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにすでに登録された相手先の中から選択します。相手先を選択するには、リストの相手先の左側にあるチェックボックスをチェックします。

6

[適用] ボタンをクリックします。



詳しく説明します

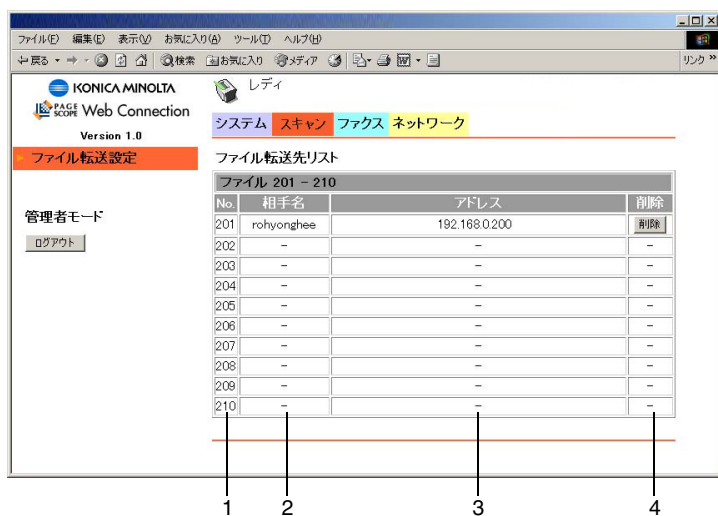
FTP サーバアドレスをグループ登録することはできません。

3

1	グループダイヤル名	登録するグループダイヤルの名前を設定します。（20 文字まで）
2	ワンタッチダイヤルのインデックス	インデックスの番号をクリックすると、そのワンタッチダイヤルのリストにジャンプします。
3	短縮ダイヤルのインデックス	インデックス番号をクリックすると、その短縮ダイヤルのリストにジャンプします。

■ 短縮ダイヤル（FTP サーバ）の登録

「スキャン」タブの「ファイル転送設定」メニューで、本機の短縮ダイヤルに FTP サーバを設定できます。



1	No.	短縮ダイヤル番号（201 ～ 210）
2	相手名	FTP サーバの名前
3	アドレス	FTP サーバのアドレス
4	[削除] ボタン	ボタンをクリックすると、その短縮ダイヤルが削除されます。

■ 短縮ダイヤル（FTP サーバ）を新たに登録する

- 1 PageScope Web Connection を起動します。
- 2 管理者モードにログインします。
- 3 「スキャン」タブの「ファイル転送設定」メニューをクリックします。
- 4 新たに相手先を登録したい短縮ダイヤルの番号をクリックします。



「PageScope Web Connection の使いかた」
(p. 1-13) を参照。

5

ファイル送信先画面が表示されます。必要な項目を設定して、[適用] ボタンをクリックします。

ファイル送信先

機能	説明
相手名	ファイル送信先の名前を設定します。(20文字まで)
FTP サーバアドレス	スキャンデータを送信する FTP サイトのホスト名または IP アドレスを設定します。(64 文字まで)
ディレクトリ	スキャンデータを保存する FTP サイトのディレクトリを設定します。(128 文字まで)
プロキシサーバを使用する	プロキシサーバ経由で FTP サイトにアクセスする場合にチェックします。(プロキシサーバの設定については、「FTP と DNS 情報」(p. 2-32) を参照してください。)
リモートポート番号	プロキシサーバを使用しない場合のリモートホストのポート番号 (1 ~ 65535) を設定します。通常、ポート番号 21 を使用します。

3

メール送信通知

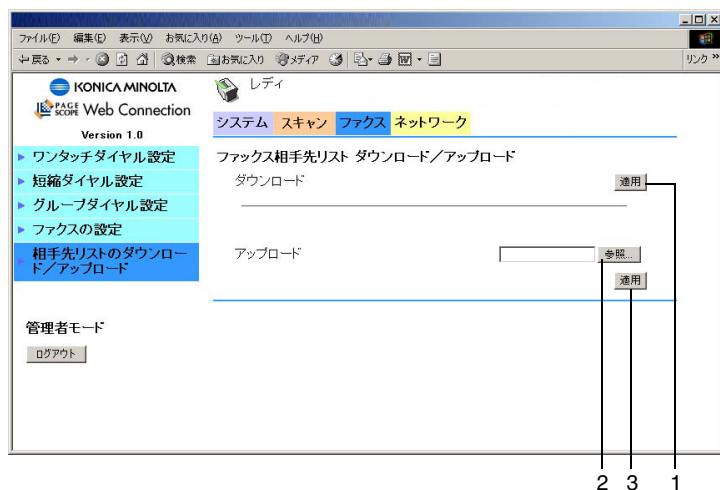
機能	説明
メール通知を行う	スキャンデータを FTP サーバにアップロードする際メールで通知を行う場合にチェックします。
通知先アドレス	メール通知を行う場合に送信先のメールアドレス（10 箇所まで）を設定します。（64 文字まで）

アカウント情報

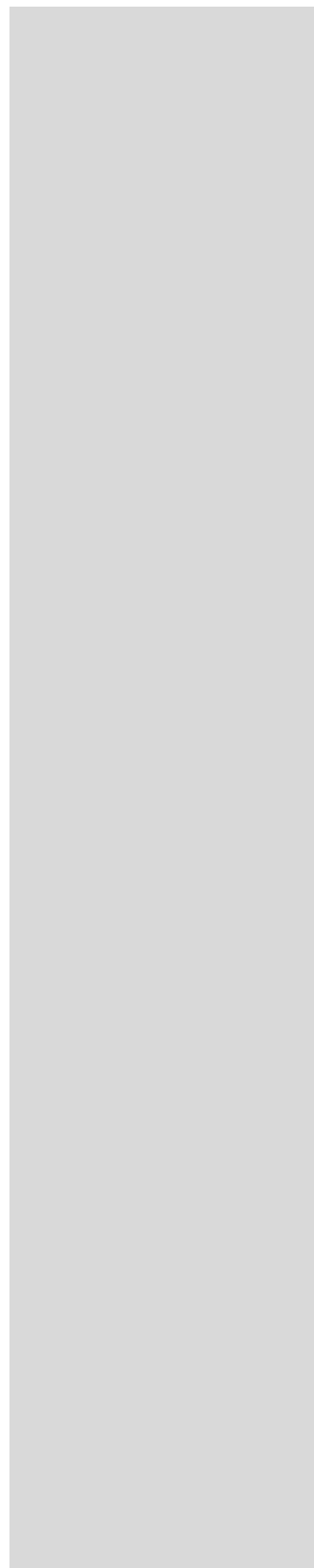
機能	説明
匿名	送信先の FTP サイトが anonymous FTP サーバの場合に選択します。
プライベートサイト	送信先の FTP サイトがユーザー認証を必要とする場合に選択し、以下の項目を設定します。 ユーザ名：FTP サイトへログインする際のユーザ名（20 文字まで） パスワード：FTP サイトへログインするユーザ名のパスワード（20 文字まで） パスワードの再入力：確認としてもう一度同じパスワードを入力します。

■ 相手先リストをダウンロード／アップロードする

「ファクス」タブの「相手先リストのダウンロード／アップロード」メニューをクリックして、本機に登録されている相手先のワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルの設定（FTP サーバの送信先を除く）を、CSV ファイルとしてエクスポートできます（ダウンロード）。また、CSV ファイルを本機にアップロードすることもできます。



1	[適用] ボタン	このボタンをクリックすると、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている相手先のリストが CSV ファイルとしてエクスポートされます。（ファイルをダウンロードするウィンドウが開きます。）
2	[参照] ボタン	このボタンをクリックして、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている相手先情報が含まれている CSV ファイルを選択します。
3	[適用] ボタン	このボタンをクリックすると、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルの情報が含まれている、選択した CSV ファイルが本機にアップロードされます。



第4章

Scan to E-mail の使いかた

スキャンしたデータをメール送信する方法について説明します。

4.1	基本的な送信のしかた	4-2
4.2	読み取りモードの設定変更をする	4-8
4.3	読み取りサイズの設定変更をする	4-10
4.4	スキャン設定項目の初期値を設定する	4-11
4.5	原稿読み取り中にメモリ不足になった場合	4-13
4.6	ワンタッチダイヤルから相手先を選択する	4-14
4.7	短縮ダイヤルから相手先を選択する	4-15
4.8	グループダイヤルから相手先を選択する	4-16
4.9	電話帳から相手先を選択する	4-17

4.1 基本的な送信のしかた

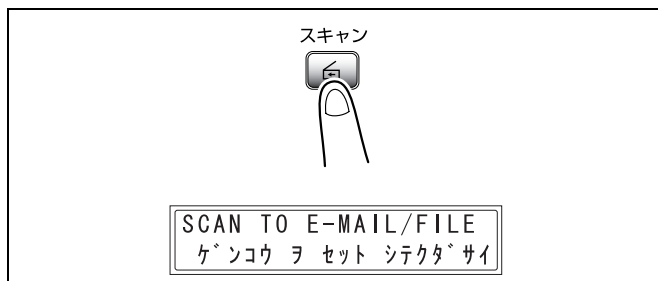
Scan to E-mail では、文書はメールサーバを経由して送信されます。相手先との直接通信は行いません。また、サーバとの通信が正常終了した時点で、送信完了として扱われます。

この操作を行うには、あらかじめ IP アドレス、SMTP サーバアドレス、メールアドレスなどを設定しておく必要があります。

■ 自動原稿送り装置を使用するとき

1

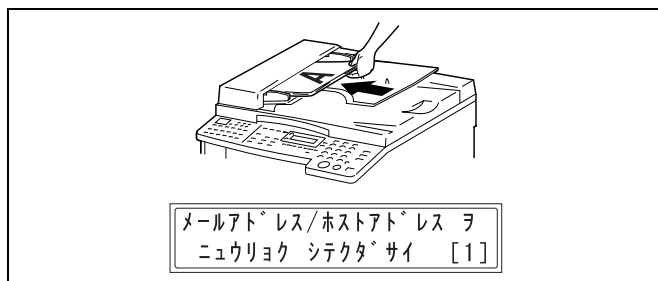
【スキャン】を押します。



スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

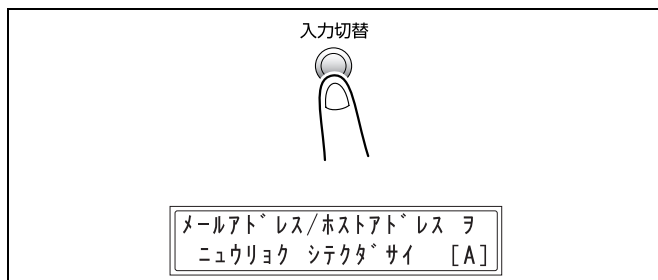
2

自動原稿送り装置に送信したい原稿をセットします。



3

【入力切替】を押します。



ひとこと

- 原稿セットガイドを原稿サイズに合わせます。
- 読み取る面を上向きに原稿をセットします。



使用に適した原稿、画像の読み取り範囲については、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

4

テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、【▶】を押し、【Yes 決定】を押します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> T0=user01@test.local OK=YES [A] </div>
--

- タイトル（件名）、画質（解像度）などを指定しない場合は、【Yes 決定】を押さずに【スタート】を押してください。

5

タイトル（件名）を入力し、【Yes 決定】を押します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ケンメイ=Tokyo_ OK=YES [A] </div>

6

CC で送信したい相手先のメールアドレスを指定し、【Yes 決定】を押します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> CC 001=user02@test.l OK=YES [A] </div>
--

- 複数の相手先に CC で送信する場合は、【Yes 決定】を押して相手先を指定します。すべての相手先の指定が終わるまで、手順 6 を繰り返します。

7

CC で送信したい相手先の指定が終了したら、【Yes 決定】を押します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> CC 005= OK=YES [1] </div>

8

【◀】、【▶】で画質（解像度）（150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi）を選択し、【Yes 決定】を押します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 150x150 *300x300 ▶ OK=YES (セッティ=▼) </div>

詳しく説明します

相手先は以下の方法でも指定できます。

- ・「ワンタッチダイヤルから相手先を選択する」（p. 4-14）を参照。
- ・「短縮ダイヤルから相手先を選択する」（p. 4-15）を参照。
- ・「電話帳から相手先を選択する」（p. 4-17）を参照。

ひとこと

【スキャン】を押した後に指定したメールアドレスは、Scan to E-mail の宛先として送信されます。

詳しく説明します

読み取りモードの詳細を設定したい場合は、【▼】を押します。設定のしかたについては、「読み取りモードの設定変更をする」（p. 4-8）を参照。

4

9

【◀】、【▶】で「ADF」を選択します。

*ADF	フック(オート)
	(ソウシン=スタート)

10

【スタート】を押します。

読み取り・送信が開始されます。

詳しく説明します

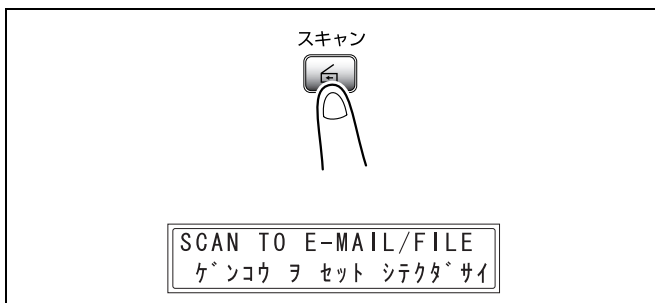
- 読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- スキャンデータが送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨク キャンセル」を選択してください。(p. 6-22)

■ 原稿ガラス上にセットするとき

1

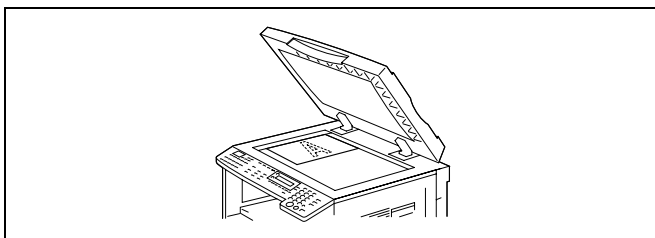
【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。



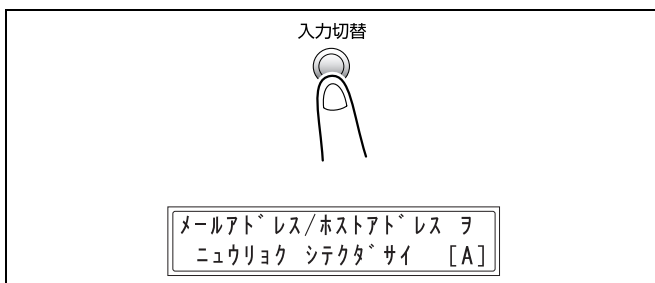
2

原稿カバーを開き、送信したい原稿をセットします。



3

【入力切替】を押します。



ひとこと

- 読み取る面を下向きに原稿をセットします。
- 原稿ガラス上側と左側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。

参照

使用に適した原稿、画像の読み取り範囲については、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

4

テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、【▶】を押し、【Yes 決定】を押します。

```
T0=user01@test.local
OK=YES [A]
```

- タイトル（件名）、CC、画質（解像度）などを指定しない場合は、【Yes 決定】を押さずに【スタート】を押してください。

5

タイトル（件名）を入力し、【Yes 決定】を押します。

```
件名=Tokyo_
OK=YES [A]
```

6

CC で送信したい相手先のメールアドレスを指定し、【Yes 決定】を押します。

```
CC 001=user02@test.l
OK=YES [A]
```

- 複数の相手先に CC で送信する場合は、【Yes 決定】を押して相手先を指定します。すべての相手先の指定が終わるまで、手順 6 を繰り返します。

7

CC で送信したい相手先の指定が終了したら、【Yes 決定】を押します。

```
CC 005=
OK=YES [1]
```

8

【◀】、【▶】で画質（解像度）（150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi）を選択し、【Yes 決定】を押します。

```
150x150 *300x300 ▶
OK=YES (セッテイ=▼)
```

詳しく説明します

相手先は以下の方法でも指定できます。

- 「ワンタッチダイヤルから相手先を選択する」(p. 4-14) を参照。
- 「短縮ダイヤルから相手先を選択する」(p. 4-15) を参照。
- 「電話帳から相手先を選択する」(p. 4-17) を参照。

ひとこと

【スキャン】を押した後に指定したメールアドレスは、Scan to E-mail の宛先として送信されます。

詳しく説明します

読み取りモードの詳細を設定したい場合は、【▼】を押します。設定のしかたについては、「読み取りモードの設定変更をする」(p. 4-8) を参照。

9

【◀】、【▶】で「ブック」を選択します。

ADF *ブック(オート)
ヨミトリ=YES (サイズ=▼)

10

【Yes 決定】を押します。

読み取りが開始されます。

11

複数枚の原稿を読み取る場合は、右図の画面が表示されたら次の原稿を原稿ガラスにセットし、【Yes 決定】を押します。

ツキノページ?(オート) ❶
ヨミトリ=YES(ソウシン=スタート)

○ 原稿の枚数分、手順 11 を繰り返します。

12

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

詳しく説明します

読み取りサイズを変更したい場合は【▼】を押します。サイズの変更のしかたについては、「読み取りサイズの設定変更をする」(p. 4-10)を参照。

詳しく説明します

読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。

詳しく説明します

- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- スキャンデータが送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨク キャンセル」を選択してください。(p. 6-22)

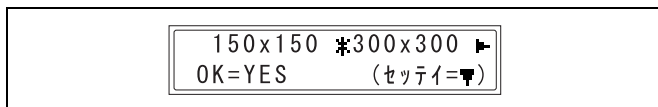
4

4.2 読み取りモードの設定変更をする

画質（解像度）を選択する画面から、読み取りモードの設定を変更できます。設定の変更をしない場合、ユーティリティでの読み取りモードの設定、または工場出荷時の設定で、スキャンデータが送信されます。

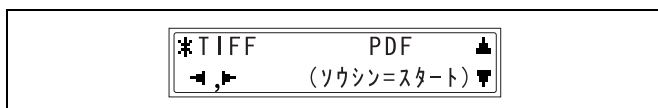
1

画質（解像度）を選択する画面で【▼】を押します。



2

【◀】、【▶】でメールに添付する画像のデータフォーマット（「TIFF」または「PDF」）を選択します。



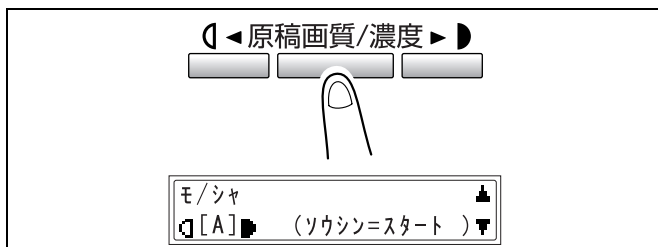
3

引き続き他の設定を変更したい場合は、【▼】を押します。（手順4へ）

- 読み取りモードの設定を終了する場合は、【Yes 決定】を押します。原稿モード選択画面が表示されます。

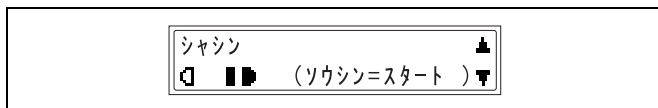
4

【原稿画質 / 濃度】を押し、「モ/シャ [A]」（オート）、「モジ [A]」（オート）、「シャシ」、「モ/シャ」、「モジ」を切り替えます。



5

「シャシ」、「モ/シャ」、「モジ」を選択した場合は、【◀】、【▶】を押して濃度を調整します。



詳しくは、「スキャン設定項目の初期値を設定する」（p. 4-11）を参照してください。

ひとこと

ディスプレイ左側の表示で確認してください。

6

引き続き他の設定を変更したい場合は、【▼】を押します。(手順7へ)

- 読み取りモードの設定を終了する場合は、【Yes 決定】を押します。原稿モード選択画面が表示されます。

7

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式(「MH」、「MR」、「MMR」)を選択します。



8

【Yes 決定】を押します。読み取りモードの設定が終了します。

原稿モードを選択する画面が表示されます。

4

4.3 読み取りサイズの設定変更をする

原稿モード（「フック」）を選択する画面から、読み取りサイズの設定を変更できます。

1

原稿モード（「フック」）を選択する画面で【▼】を押します。

ADF *フック(オート)
ヨミトリ=YES (サイズ=▼)

2

【◀】、【▶】で、自動で原稿サイズを検出する（「オート」）か、読み取りサイズを選択する（「マニュアル」）かを選択し、【Yes 決定】を押します。

オート *マニュアル
◀, ▶ & YES

- 「オート」を選択すると、原稿モード選択画面に戻ります。
- 「マニュアル」を選択した場合は手順3へ。

3

【◀】、【▶】で、読み取りサイズを選択し、【Yes 決定】を押します。

◀ A5□ A5□ *A4□ A4□▶
◀, ▶ & YES

原稿モード選択画面に戻ります。

4.4 スキャン設定項目の初期値を設定する

メール送信（Scan to E-mail）、サーバ送信（Scan to Server（FTP））で読み取り・送信を行うときの画質（解像度）、データ形式、圧縮符号化方式の初期値を変更することができます。

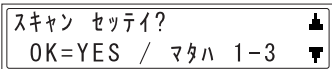
■ 画質（解像度）の設定

1

【ユーティリティ】を押します。

2


【▼】、【▲】を押し、「スキャン セッテ」を表示させます。



スキャン セッテイ?
OK=YES / マタハ 1-3

3

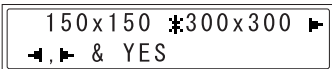
テンキーの【1】を押し、「ガッツ」を選択します。



1 ガッツ

4

【◀】、【▶】で画質（解像度）（150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi）を選択し、【Yes 決定】を押します。



150x150 *300x300 ▶
◀ ▶ & YES

「スキャン セッテ」画面が表示されます。

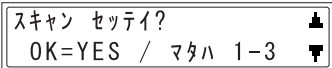
■ データ形式の設定

1

【ユーティリティ】を押します。

2

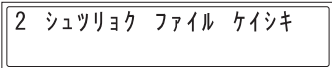
【▼】、【▲】を押し、「スキャン セッテ」を表示させます。



スキャン セッテイ?
OK=YES / マタハ 1-3

3

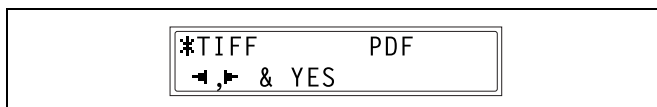
テンキーの【2】を押し、「シュツリョク ファイル ケイシキ」を選択します。



2 シュツリョク ファイル ケイシキ

4

【◀】、【▶】でデータフォーマット（「TIFF」または「PDF」）を選択し、【Yes 決定】を押します。



「スキャン セッテイ」画面が表示されます。

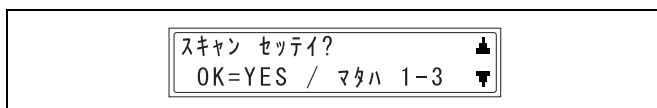
■ 圧縮符号化方式の設定

1

【ユーティリティ】を押します。

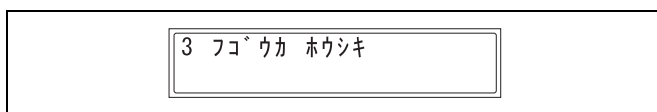
2

【▼】、【▲】を押し、「スキャン セッテイ」を表示させます。



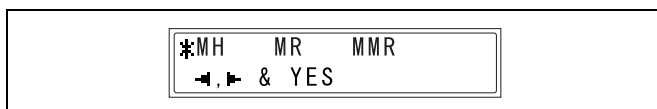
3

テンキーの【3】を押し、「フゴウカ 杓シキ」を選択します。



4

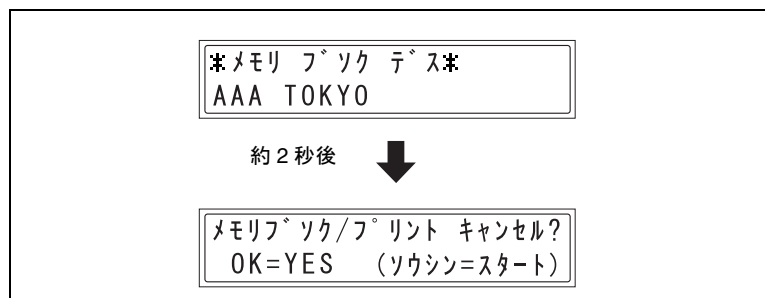
【◀】、【▶】で圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択し、【Yes 決定】を押します。



「スキャン セッテイ」画面が表示されます。

4.5 原稿読み取り中にメモリ不足になった場合

原稿を読み取っている途中でメモリ不足が近づくと、警告メッセージが表示されます。



この画面が表示されてから約 1 分以内に【スタート】を押すと、それまでに読み込まれた原稿データがいったん送信されます。自動原稿送り装置を使用している場合は、送信後に残りの原稿が読み取られます。

この画面が表示されてから約 1 分以内に【Yes 決定】を押した場合、またはどのキーも押されなかった場合は、送信がキャンセルされます。

4.6 ワンタッチダイヤルから相手先を選択する

1

【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先のメールアドレスが登録されているキーを押します。

01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

ワンタッチダイヤル 01

☎=AAA TOKYO
(ソウシン=スタート)

ひとこと

事前にワンタッチダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。
ワンタッチダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

4.7 短縮ダイヤルから相手先を選択する

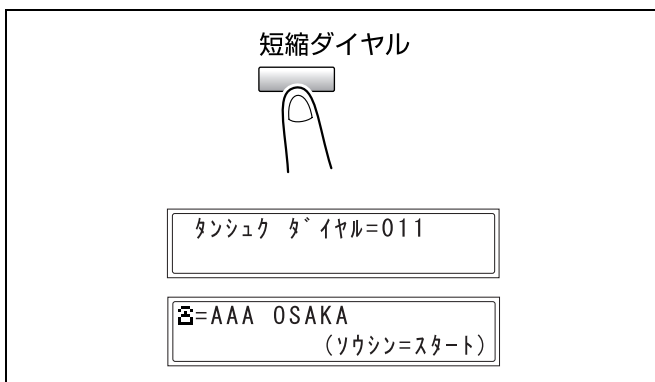
1

【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

【短縮ダイヤル】を押し、テンキーで3桁の短縮番号（メールアドレスが登録されている番号）を入力します。



ひとこと

事前に短縮ダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。
短縮ダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

ひとこと

入力を間違えたときは、【No】を押して番号を入力しなおしてください。

4

4.8 グループダイヤルから相手先を選択する

1

【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先のグループが登録されているキーを押します。

01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

グループダイヤル 11

☎=JAPAN

(ソウシン=スタート)

ひとこと

事前にグループダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。
グループダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

詳しく説明します

グループダイヤルキーの相手先にファクス番号が1つでも登録されている場合は、そのグループダイヤルキーをメール送信 (Scan to E-mail) に使用できません。その場合は、ディスプレイに「メールアドレス データ リマセン」というメッセージが表示されます。

4.9 電話帳から相手先を選択する

電話帳では、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。電話帳から相手先を探して指定し、送信できます。

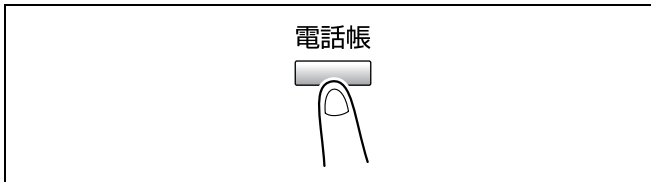
1

【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

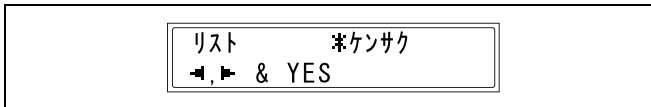
2

【電話帳】を押します。

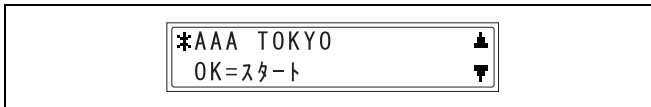


3

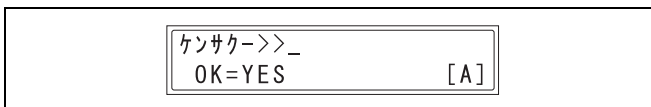
【◀】、【▶】で「リスト」または「ケンサク」を選択し、【Yes 決定】を押します。



- 「リスト」を選択すると、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。【▼】、【▲】で相手先を選択します。



- 「ケンサク」を選択すると、検索文字列を入力する画面が表示されます。相手先の登録名の一部（または全部）を入力して検索を行います。検索の手順については、「電話帳の検索のしかた」(p. 4-18)を参照してください。



4

【スタート】を押します。

■ 電話帳の検索のしかた

1

【スキャン】を押します。

スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

【電話帳】を押します。

3

【◀】、【▶】で「ケンサク」を選択し、【Yes 決定】を押します。検索文字列を入力する画面が表示されます。

リスト	*ケンサク
◀, ▶ & YES	

4

相手先の登録名の先頭の何文字かを入力します。

ケンサク->>AAA_	
OK=YES	[A]

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている登録名の一部を入力します。

5

【Yes 決定】を押します。

ケンサクチュウ
AAA (10)
ケンサク=YES (ヒョウシ`=▼▲)

- 手順3で入力した文字列で始まる登録名が表示されます。表示された検索結果の中から相手先を指定する場合は、手順7へ。

6

検索結果からさらに絞り込みたいときは、【Yes 決定】を押し、検索文字列の続きを入力します。

ケンサク->>AAA TOK_	
OK=YES	[A]



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

10文字まで入力できます。



詳しく説明します

入力した文字列で始まる登録名がワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに存在しない場合は、(0)が表示された後、検索文字列を入力する画面に戻ります。

7

【Yes 決定】を押します。

8

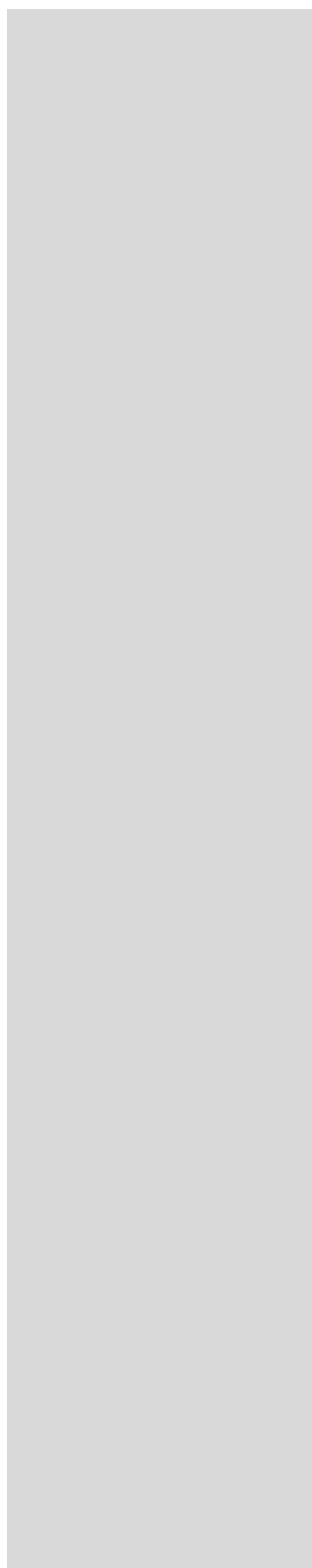
【▼】、【▲】で相手先を選択します。

AAA TOK (2) ケンサク=YES (ヒョウジ° =▼▲)
*AAA TOKYO OK=スタート

詳しく説明します

検索結果の中に送信したい相手先がない場合は、【No】を2回押して検索文字列を入力する画面に戻り、検索文字列を入力しなおします。

4



第 5 章

Scan to Server (FTP) の使いか た

5

スキャンしたデータをサーバに送信する方法について説明します。

- 5.1 基本的な送信のしかた 5-2
- 5.2 原稿読み取り中にメモリ不足になった場合 5-8

5.1 基本的な送信のしかた

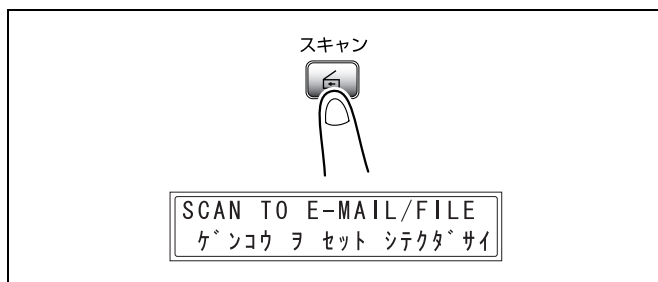
Scan to Server (FTP) を行うためには、あらかじめ FTP サーバアドレスなどを登録しておく必要があります。PageScope Web Connection を使用して設定します。(「ファイル転送設定」(p. 2-35) を参照してください。)

また、FTP の送信宛先を短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。(「短縮ダイヤル (FTP サーバ) の登録」(p. 3-18) を参照してください。)

■ 自動原稿送り装置を使用するとき

1

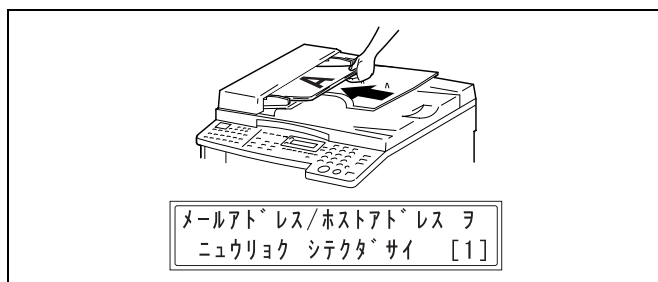
【スキャン】を押します。



スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

自動原稿送り装置に送信したい原稿をセットします。

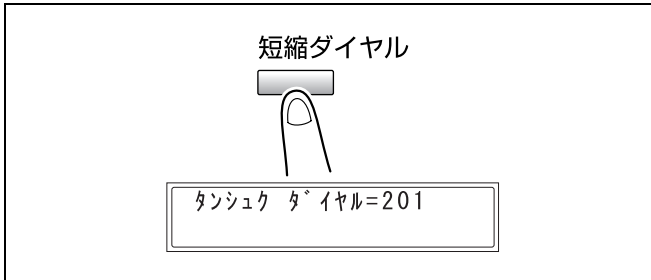


ひとこと

- 原稿セットガイドを原稿サイズに合わせます。
- 読み取る面を上向きに原稿をセットします。

3

【短縮ダイヤル】を押し、テンキーで3桁の短縮番号（アップロードしたいFTPサーバアドレスが登録されている番号）を入力します。



詳しく説明します

- 短縮番号は、「201」～「210」の中から指定します。
- FTPサーバは短縮ダイヤルでのみ指定できます。また、FTPサーバアドレスの短縮ダイヤルへの登録は PageScope Web Connection を使用して行います。詳しくは、「短縮ダイヤル（FTPサーバ）の登録」（p. 3-18）を参照。
- 指定した短縮ダイヤルに何も登録されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。再度、短縮番号を入力しなおしてください。

ひとこと

入力間違えたときは、【No】を押して番号を入力しなおしてください。

4

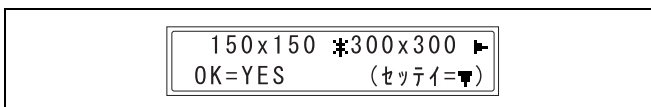
【Yes 決定】を押します。



- 画質（解像度）などを指定しない場合は、【Yes 決定】を押さずに【スタート】を押してください。

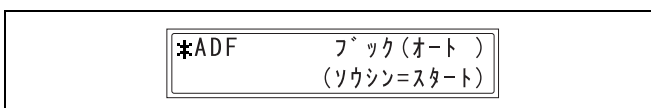
5

【◀】、【▶】で画質（解像度）（150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi）を選択し、【Yes 決定】を押します。



6

【◀】、【▶】で「ADF」を選択します。



詳しく説明します

読み取りモードの詳細を設定したい場合は、【▼】を押します。設定のしかたについては、「読み取りモードの設定変更をする」（p. 4-8）を参照。

5

7

【スタート】を押します。

読み取り・FTP サーバへの接続・アップロードが開始されます。

詳しく説明します

- 読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- スキャンデータが送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨウ キャンセル」を選択してください。（「予約キャンセルのしかた」(p. 6-22) を参照。）

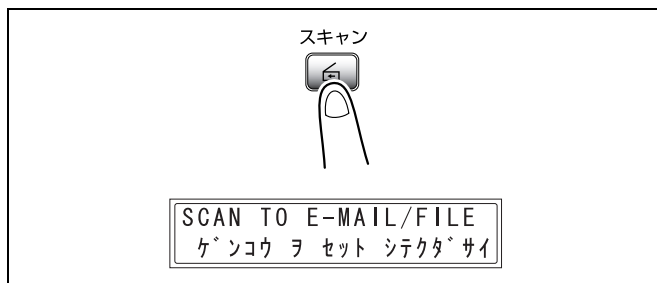
ひとこと

アップロードした FTP サーバアドレスを、指定した相手先（10 箇所）にメールで通知するように設定することができます。PageScope Web Connection で短縮ダイヤル登録時に「メール通知を行う」を選択します。（「短縮ダイヤル（FTP サーバ）を新たに登録する」(p. 3-18) を参照してください。）

■ 原稿ガラス上にセットするとき

1

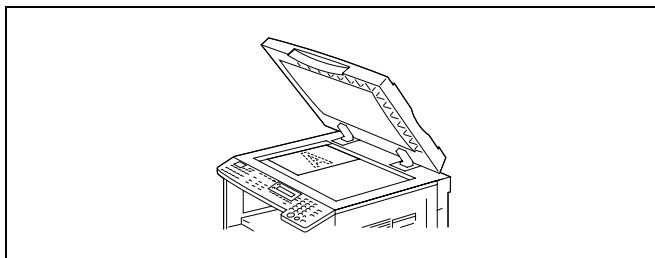
【スキャン】を押します。



スキャンモードに切り替わり、スキャン画面が表示されます。

2

原稿カバーを開き、送信したい原稿をセットします。



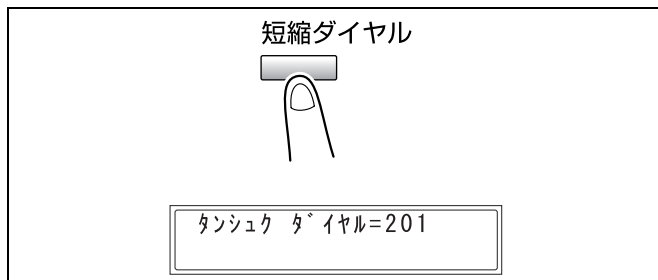
ひとこと

- 読み取る面を下向きに原稿をセットします。
- 原稿ガラス上側と左側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。

5

3

【短縮ダイヤル】を押し、テンキーで3桁の短縮番号（アップロードしたいFTPサーバアドレスが登録されている番号）を入力します。



詳しく説明します

- 短縮番号は、「201」～「210」の中から指定します。
- FTPサーバは短縮ダイヤルでのみ指定できます。また、FTPサーバアドレスの短縮ダイヤルへの登録は PageScope Web Connection を使用して行います。詳しくは、「短縮ダイヤル（FTPサーバ）の登録」（p. 3-18）を参照。
- 指定した短縮ダイヤルに何も登録されていない場合は、エラーメッセージが表示されます。再度、短縮番号を入力しなおしてください。

ひとこと

入力を間違えたときは、【No】を押して番号を入力しなおしてください。

4

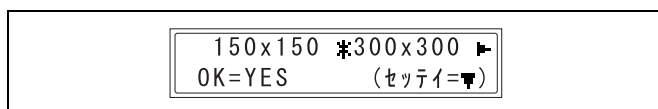
【Yes 決定】を押します。



- 画質（解像度）などを指定しない場合は、【Yes 決定】を押さずに【スタート】を押してください。

5

【◀】、【▶】で画質（解像度）（150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi）を選択し、【Yes 決定】を押します。



詳しく説明します

読み取りモードの詳細を設定したい場合は【▼】を押します。設定のしかたについては、「読み取りモードの設定変更をする」（p. 4-8）を参照。

6

【◀】、【▶】で「ブック」を選択します。

ADF	*ブック(オート)
ヨミトリ=YES	(サイズ=▼)

7

【Yes 決定】を押します。

読み取りが開始されます。

8

複数枚の原稿を読み取る場合は、右図の画面が表示されたら次の原稿を原稿ガラスにセットし、【Yes 決定】を押します。

ツキノハ〜シ? (オート)	📄
ヨミトリ=YES (ソウシン=スタート)	

○ 原稿の枚数分、手順 8 を繰り返します。

9

【スタート】を押します。

FTP サーバへの接続・アップロードが開始されます。

詳しく説明します

読み取りサイズを変更したい場合は【▼】を押します。サイズの変更のしかたについては、「読み取りモードの設定変更をする」(p. 4-8)を参照。

詳しく説明します

読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。

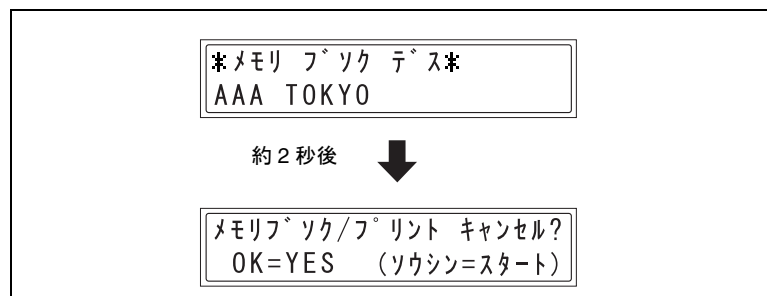
詳しく説明します

- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- スキャンデータ送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨク キャンセル」を選択してください。(「予約 キャンセルのしかた」(p. 6-22)を参照。)

5

5.2 原稿読み取り中にメモリ不足になった場合

原稿を読み取っている途中でメモリ不足が近づくと、警告メッセージが表示されます。



この画面が表示されてから約1分以内に【スタート】を押すと、それまでに読み込まれた原稿データがいったん送信されます。自動原稿送り装置を使用している場合は、送信後に残りの原稿が読み取られます。

この画面が表示されてから約1分以内に【Yes 決定】を押した場合、またはどのキーも押されなかった場合は、送信がキャンセルされます。

第 6 章

インターネットファクスの使いかた

スキャンしたデータをインターネット経由で送受信する方法について説明します。

6.1 基本的な送信のしかた	6-2
6.2 ファクス画質の設定	6-7
6.3 メールモードの設定変更をする	6-8
6.4 原稿読み取り中にメモリ不足になった場合	6-10
6.5 ワンタッチダイヤルから相手先を選択する	6-11
6.6 短縮ダイヤルから相手先を選択する	6-12
6.7 グループダイヤルから相手先を選択する	6-13
6.8 電話帳から相手先を選択する	6-14
6.9 複数の相手先に送信する（同報送信）	6-17
6.10 指定した時刻に送信する（時刻指定送信）	6-20
6.11 送信予約をキャンセル（削除）する	6-22
6.12 インターネットファクス受信	6-24
6.13 ファクス文書の転送	6-26

6.1 基本的な送信のしかた

インターネットファクスは、メールサーバを介した送受信を行います。相手先との直接通信は行いません。また、サーバとの通信が正常終了した時点で、送信完了として扱われます。

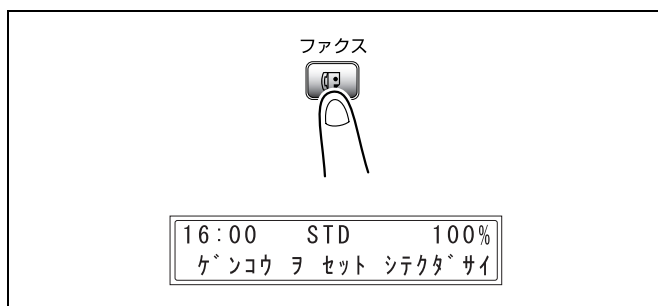
送信できる原稿サイズ・画質は、相手側のインターネットファクス機の性能に依存します。相手側のインターネットファクス機の性能を確認してから送信してください。相手側のインターネットファクス機の性能が分からないときは、最小の設定で送信することをおすすめします。

インターネットファクスを使用するためには、あらかじめ IP アドレス、SMTP サーバアドレス、メールアドレスなどを設定しておく必要があります。

■ 自動原稿送り装置を使用するとき

1

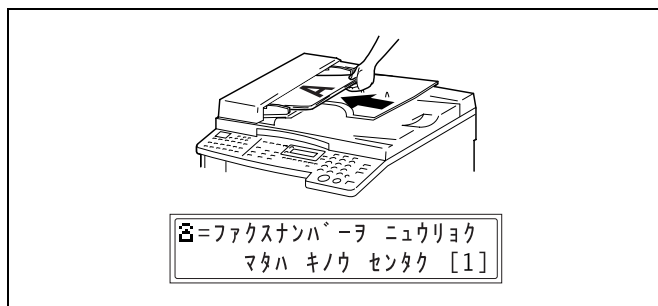
【ファクス】を押します。



ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

自動原稿送り装置に送信したい原稿をセットします。



3

必要に応じてファクス画質（解像度）（p. 6-7）を設定します。

詳しく説明します

相手側のインターネットファクス機の性能が分からない場合の推奨設定

原稿サイズ：A4

画質：STD もしくは FINE

圧縮符合化方式：MH

ひとこと

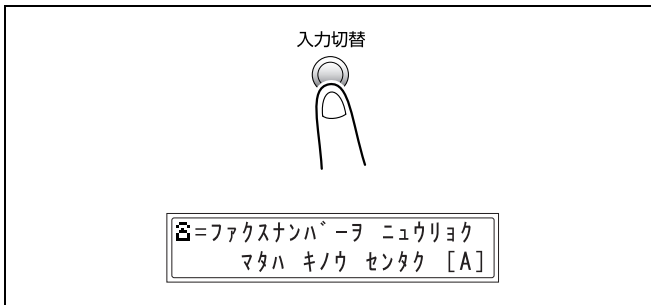
- 原稿セットガイドを原稿サイズに合わせます。
- 読み取る面を上向きに原稿をセットします。

参照

使用に適した原稿、画像の読み取り範囲、画像のプリント領域、用紙の種類やサイズについては、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

4

【入力切替】を押します。



5

テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、【▶】を押します。以下の方法でも相手先を指定できます。



詳しく説明します

相手先は以下の方法でも指定できます。

- 「ワンタッチダイヤルから相手先を選択する」(p. 6-11)を参照。
- 「短縮ダイヤルから相手先を選択する」(p. 6-12)を参照。
- 「電話帳から相手先を選択する」(p. 6-14)を参照。

詳しく説明します

- 文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。
- テンキーでアドレスを入力するときは、メールアドレス入力後に【▼】を押してメールモードの詳細設定を行うことができます。設定のしかたについては、「メールモードの設定変更をする」(p. 6-8)を参照。

参照

メールモードについては、「メールモードを設定する」(p. 2-19)を参照。

ひとこと

【ファクス】を押した後に指定したメールアドレスは、インターネットファクスの宛先として送信されます。

6

6

【スタート】を押します。
読み取り・送信が開始されます。

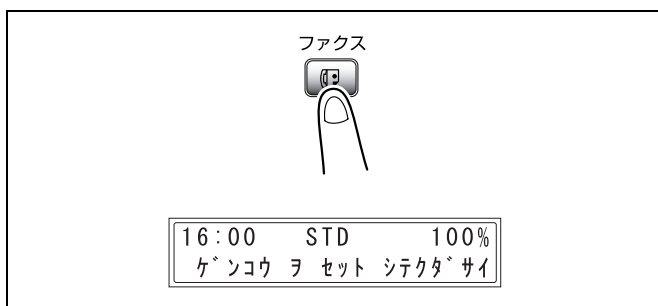
詳しく説明します

- 読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- スキャンデータが送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨク キャンセル」を選択してください。(p. 6-22)

■ 原稿ガラス上にセットするとき

1

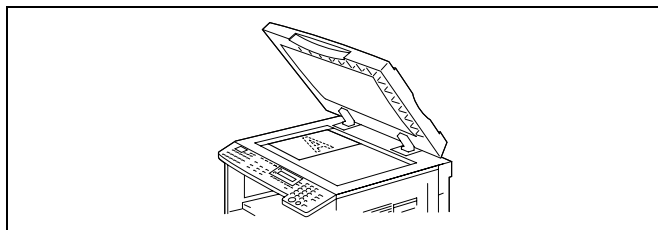
【ファクス】を押します。



ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

原稿カバーを開き、送信したい原稿をセットします。



3

必要に応じてファクス画質（解像度）（p. 6-7）を設定します。

ひとこと

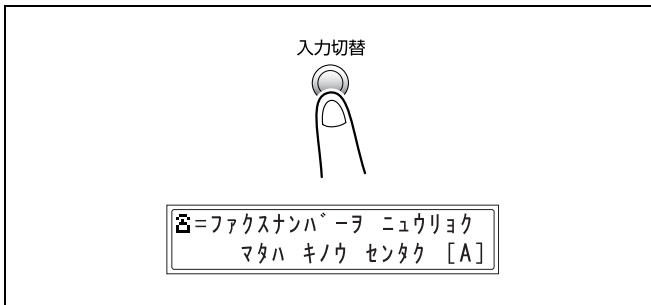
- 読み取る面を下向きに原稿をセットします。
- 原稿ガラス上側と左側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。

詳しく説明します

使用に適した原稿、画像の読み取り範囲、画像のプリント領域、用紙の種類やサイズについては、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

4

【入力切替】を押します。



5

テンキーで相手先のメールアドレスを入力し、【▶】を押します。



詳しく説明します

相手先は以下の方法でも指定できます。

- 「ワンタッチダイヤルから相手先を選択する」(p. 6-11)を参照。
- 「短縮ダイヤルから相手先を選択する」(p. 6-12)を参照。
- 「電話帳から相手先を選択する」(p. 6-14)を参照。

詳しく説明します

- 文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。
- テンキーでアドレスを入力するときは、メールアドレス入力後に【▼】を押してメールモードの詳細設定を行うことができます。設定のしかたについては、「メールモードの設定変更をする」(p. 6-8)を参照。

参照

メールモードについては、「メールモードを設定する」(p. 2-19)を参照。

ひとこと

【ファクス】を押した後に指定したメールアドレスは、インターネットファクスの宛先として送信されます。

6

6

【スタート】を押します。

7

ディスプレイに表示されている原稿サイズを確認します。

フックヨミトリ(オート) ヨミトリ=YES (サイズ=▼)

- 原稿サイズを変更する場合は【▼】を押し、原稿サイズ選択画面で、【◀】、【▶】を押して原稿サイズを選択します。

8

【Yes 決定】を押します。

読み取りが開始されます。

9

複数枚の原稿を読み取る場合は、右図の画面が表示されたら次の原稿を原稿ガラスにセットし、【Yes 決定】を押します。

ツギノページ?(オート) 1 ヨミトリ=YES (ソウシン=スタート)
--

- 原稿の枚数分、手順9を繰り返します。

10

【スタート】を押します。送信が開始されます。

詳しく説明します

読み取りを途中で中止したい場合は、【ストップ】を押します。

詳しく説明します

- ・送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。
- ・スキャンデータが送信待ちのときに送信を取り消したい場合は、【機能】を押し、「ヨク キャンセル」を選択してください。(「予約キャンセルのしかた」(p. 6-22)を参照。)

6.2 ファクス画質の設定

以下のように原稿に合わせた画質を指定することで、鮮明な原稿を送信できます。

原稿の内容	画質設定
普通の文字原稿	STD (スタンダード)
小さい文字を含む原稿 (新聞など) 精密図を含む原稿	Fine (ファイン)、S/F (スーパーファイン)
写真など濃淡のあるものと文字を含む原稿	シャッ + STD (ハーフトーン+スタンダード)、 シャッ + FINE (ハーフトーン+ファイン)
写真など濃淡のあるものを含む原稿	シャッ + FINE (ハーフトーン+ファイン)、 シャッ + S.FINE (ハーフトーン+スーパーファイン)

■ ファクス画質を設定する

1

【ファクス画質】を押します。

2

【◀】、【▶】で画質を選択し、【Yes 決定】を押します。

*STD FINE S/F シャッ ◀▶ & YES

- 画質の種類は、以下のように表示されます。
STD : スタンダード
FINE : ファイン
S/F : スーパーファイン
シャッ : ハーフトーン
- 「シャッ」を選択すると、さらに設定を行う画面が表示されます。(手順3へ)

3

【◀】、【▶】でハーフトーンの画質を選択し、【Yes 決定】を押します。

*STD FINE S.FINE ◀▶ & YES

- ハーフトーンの設定は、以下のように表示されます。
STD : スタンダード
FINE : ファイン
S.FINE : スーパーファイン

ひとこと

S/F (スーパーファイン)、S.FINE + シャッ (スーパーファイン+ハーフトーン) は、拡張モード使用時のみ設定できます。
基本モードでこれらの設定が選択された場合は、FINE (ファイン) の画質で文書が送信されます。基本モードでシャッ + S.FINE (ハーフトーン+スーパーファイン) の設定が選択された場合は、シャッ + FINE (ハーフトーン+ファイン) の画質で文書が送信されます。

6

6.3 メールモードの設定変更をする

テンキーで相手先のメールアドレスを入力するときに限り、インターネットファクスを送信する際に、メールモードの設定で上限値を変更することができます。ここでメールモードの設定変更をしない場合、「メールモードを設定する」(p. 2-19)で指定した値が上限値となります。

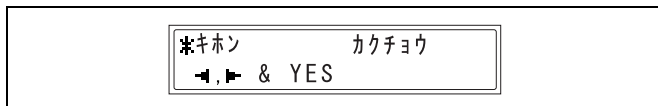
1

メールアドレス入力画面で【▼】を押します。



2

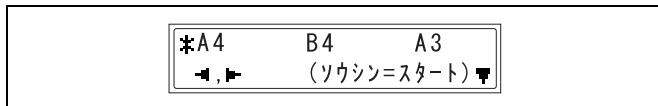
【◀】、【▶】で「キホン」または「カクチョウ」を選択し、【Yes 決定】を押します。



- 「カクチョウ」を選択すると、送信サイズの上限を設定する画面が表示されます。(手順3へ)
- 「キホン」を選択すると、メールアドレス入力画面が表示されます。

3

【◀】、【▶】で送信サイズの上限(「A4」、「B4」、「A3」)を選択します。



4

引き続き他の設定を変更したい場合は、【▼】を押します。(手順5へ)

- 【Yes 決定】を押すと、送信モード設定画面が終了し、メールアドレス入力画面が表示されます。
- 【スタート】を押すと、送信モード設定画面が終了し、文書の読み取り・送信が開始されます。
- 同報送信の場合は、【スタート】を押すと、相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。
- 時刻指定送信の場合は、【スタート】を押すと文書の読み取りが行われますが、指定した時刻になるまでは送信されません。

5

【◀】、【▶】で送信画質の上限（「FINE」または「S.FINE」）を選択します。

*FINE	S.FINE	▲
◀, ▶	(ソウシン=スタート)	▼

6

引き続き他の設定を変更したい場合は、【▼】を押します。（手順7へ）

- 【Yes 決定】を押すと、送信モード設定画面が終了し、メールアドレス入力画面が表示されます。
- 【スタート】を押すと、送信モード設定画面が終了し、文書の読み取り・送信が開始されます。
- 同報送信の場合は、【スタート】を押すと、相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。
- 時刻指定送信の場合は、【スタート】を押すと文書の読み取りが行われますが、指定した時刻になるまでは送信されません。

7

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式の上限（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

*MH	MR	MMR	▲
◀, ▶	(ソウシン=スタート)		▼

8

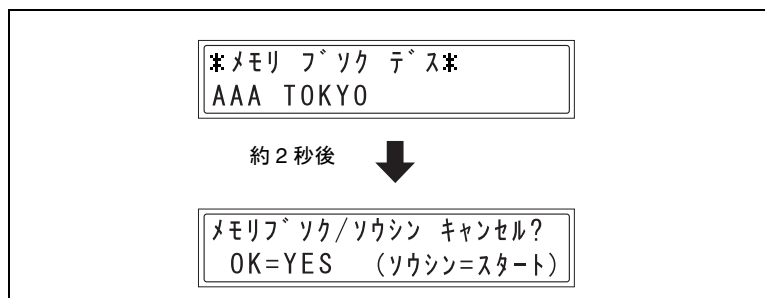
【Yes 決定】を押すと、メールアドレス入力画面に戻ります。

- 【スタート】を押すと、文書の読み取り・送信が開始されます。
- 同報送信の場合は、【スタート】を押すと、相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。
- 時刻指定送信の場合は、【スタート】を押すと文書の読み取りが行われますが、指定した時刻になるまでは送信されません。

6

6.4 原稿読み取り中にメモリ不足になった場合

原稿を読み取っている途中でメモリ不足が近づくと、警告メッセージが表示されます。



この画面が表示されてから約 1 分以内に【スタート】を押すと、それまでに読み込まれた原稿データがいったん送信されます。自動原稿送り装置を使用している場合は、送信後に残りの原稿が読み取られます。

この画面が表示されてから約 1 分以内に【Yes 決定】を押した場合、またはどのキーも押されなかった場合は、送信がキャンセルされます。

6.5 ワンタッチダイヤルから相手先を選択する

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先のメールアドレスが登録されているキーを押します。

01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

ワンタッチダイヤル 01

☎=AAA TOKYO
(ソウシン=スタート)

ひとこと

事前にワンタッチダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。
ワンタッチダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

6

6.6 短縮ダイヤルから相手先を選択する

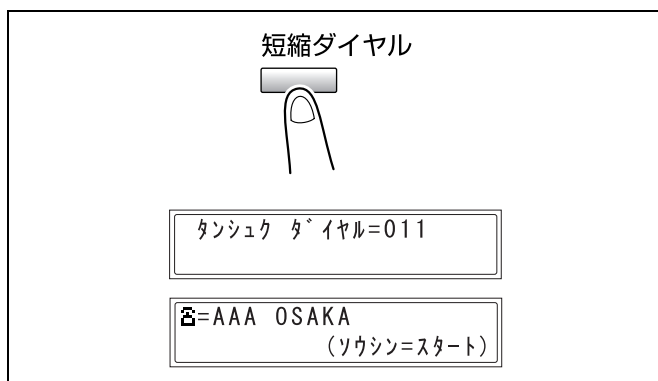
1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

【短縮ダイヤル】押し、テンキーで3桁の短縮番号（メールアドレスが登録されている番号）を入力します。



ひとこと

事前に短縮ダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。短縮ダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

ひとこと

入力を間違えたときは、【No】を押して番号を入力しなおしてください。

6.7 グループダイヤルから相手先を選択する

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

ワンタッチダイヤルキーの【01】～【27】から、送信する相手先のグループが登録されているキーを押します。

01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

グループダイヤル 11

☎=JAPAN
(ソウシン=スタート)

ひとこと

事前にグループダイヤルに相手先を登録しておく必要があります。
グループダイヤルの登録については、「送信先の登録について」(p. 3-2)を参照してください。

6

6.8 電話帳から相手先を選択する

電話帳では、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。電話帳から相手先を探して指定し、送信できます。

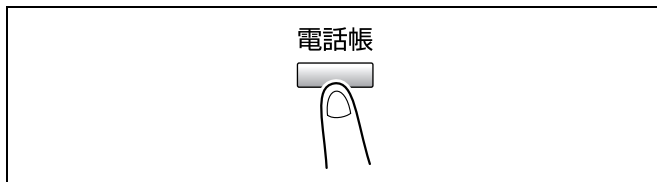
1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

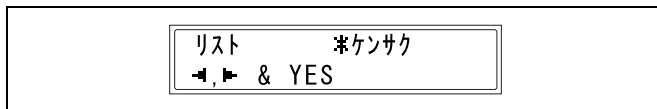
2

【電話帳】を押します。

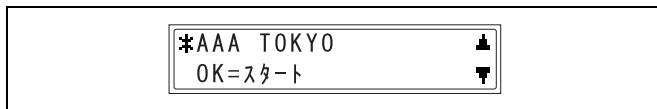


3

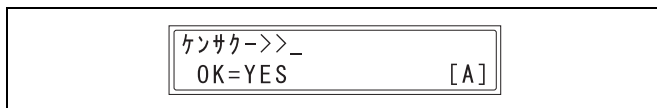
【◀】、【▶】で「リスト」または「ケンサク」を選択し、【Yes 決定】を押します。



- 「リスト」を選択すると、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録されている内容が表示されます。【▼】、【▲】で相手先を選択します。



- 「ケンサク」を選択すると、検索文字列を入力する画面が表示されます。相手先の登録名の一部（または全部）を入力して検索を行います。検索の手順については、「電話帳の検索のしかた」(p. 6-15)を参照してください。



4

【スタート】を押します。

■ 電話帳の検索のしかた

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

2

【電話帳】を押します。

3

【◀】、【▶】で「ケンサク」を選択し、【Yes 決定】を押します。検索文字列を入力する画面が表示されます。

リスト	*ケンサク
◀, ▶ & YES	

4

相手先の登録名の先頭の何文字かを入力します。

ケンサク>>AAA_	
OK=YES	[A]

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている登録名の一部を入力します。

5

【Yes 決定】を押します。

ケンサクチュウ
AAA (10)
ケンサク=YES (ヒョウジ°=▼▲)

- 手順3で入力した文字列で始まる登録名が表示されます。表示された検索結果の中から相手先を指定する場合は、手順7へ。

6

検索結果からさらに絞り込みたいときは、【Yes 決定】を押し、検索文字列の続きを入力します。

ケンサク>>AAA TOK_	
OK=YES	[A]

6



文字列の入力方法については、「文字の入力のしかた」(p. 1-10)を参照。



詳しく説明します

10文字まで入力できます。



詳しく説明します

入力した文字列で始まる登録名がワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに存在しない場合は、(0)が表示された後、検索文字列を入力する画面に戻ります。

7

【Yes 決定】を押します。

8

【▼】、【▲】で相手先を選択します。

AAA TOK (2) ケンサク=YES (ヒョウシ°=▼▲)
*AAA TOKYO OK=スタート

 詳しく説明します

検索結果の中に送信したい相手先がない場合は、【No】を2回押して検索文字列を入力する画面に戻り、検索文字列を入力しなおします。

6.9 複数の相手先に送信する（同報送信）

一度に同じスキャンデータを複数の相手先に送信できます。
一度に指定できる相手先は、最大 243 箇所までです。ただし、
直接入力で指定できるのは、最大 16 箇所までです。

■ 同報送信のしかた

1

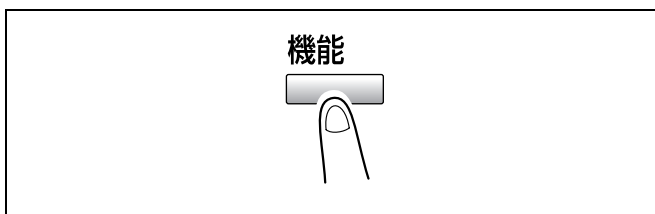
原稿をセットします。

2

必要に応じてファクス画質（解像度）（p. 6-7）を設定
します。

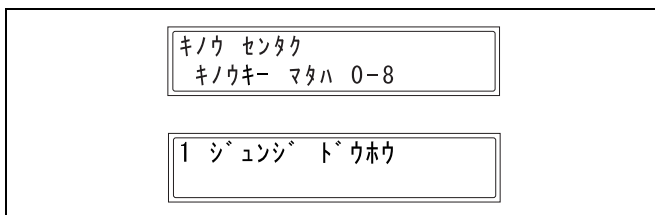
3

【機能】を押します。



4

テンキーの【1】を押します。または、【機能】を 1 回押
して「ジュンジ ドウホウ」を選択し、【Yes 決定】を押しま
す。



ひとこと

順次同報送信と時刻指定送信はメールアドレスにプログラムダイヤルの送受信機能として設定することもできます。設定方法については、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

5

相手先を指定し、【Yes 決定】を押します。

すべての相手先の指定が終わるまで、この手順を繰り返します。

6

【スタート】を押します。

相手先を確認するかどうかを選択する画面が表示されます。

7

相手先を確認する場合は、【Yes 決定】を押します。

アイテサキ ヲ カクニン シマスカ? OK=YES (ソウシン=スタート)
--

- 相手先を確認しない場合は、手順 9 へ。

8

【Yes 決定】を押すごとに、手順 5 で設定した相手先が順次表示されます。

No. 001=AAA TOKYO OK=YES (ケス=NO)

- ディスプレイに表示されている相手先を削除したいときは、【No】を押します。

No. 001 ヲ ショウキョシマシタ

- 最後まで確認すると、「カンリョウ=スタート」のメッセージが表示されます。

No. 005=_ カンリョウ=スタート [1]

詳しく説明します

- 相手先のアドレスは、ワンタッチダイヤルキー、グループダイヤルキー、短縮ダイヤルキー、電話帳からの選択、テンキーでの直接入力により指定できます。
- 相手先は、メールアドレスとファクス番号の両方で指定できます。
- テンキーでアドレスを入力するときは、メールアドレス入力後に【▼】を押して送信モードの詳細設定を行うことができます。設定のしかたについては、「メールモードの設定変更をする」(p. 6-8)を参照。

ひとこと

テンキー以外での入力時に相手先を間違えてしまった場合は、【No】を押すと現在の選択が取り消されます。（【Yes 決定】で相手先を決定する前に有効です。）

9

【スタート】を押します。

読み取りが開始され、指定した相手先にスキャンデータが送信されます。

■ 中継同報送信

本機が中継局に指定された場合、他のファクス機（中継指示局）からの送信原稿をいったん本機で受信し、複数の相手先（他のファクス機またはインターネットファクス機）に原稿を送信することができます。

相手先の設定方法については、本体に付属のユーザズガイドを参照してください。

詳しく説明します

- 同報送信で指定した相手先にメールアドレスとファクス番号の両方が設定されている場合は、ファクス番号の相手先に送信する前にメールアドレスの相手先に送信されます。
- 同報送信時には、送信設定（サイズ、画質、圧縮符号化方式）は、相手先すべて（メールアドレス）の中の最下位の設定に合わせられます。
- 相手先すべてに送信されたかどうかを、送信完了後にプリントされる送信結果レポートで確認できます。

ひとこと

相手先にメールアドレスが含まれている場合は、他のファクス機（中継指示局）から受信するファクスの圧縮符号化方式は「MMR」に制限されます。

6

6.10 指定した時刻に送信する（時刻指定送信）

原稿を本機のメモリに読み込んでおき、指定した時刻に送信できます。

■ 時刻指定送信のしかた

1

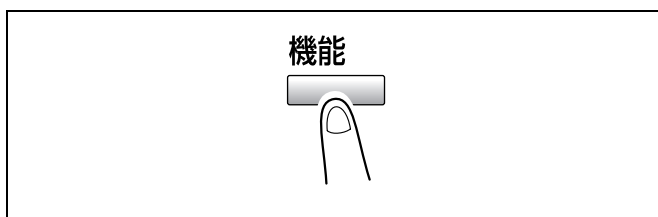
原稿をセットします。

2

必要に応じてファクス画質（解像度）（p. 6-7）を設定します。

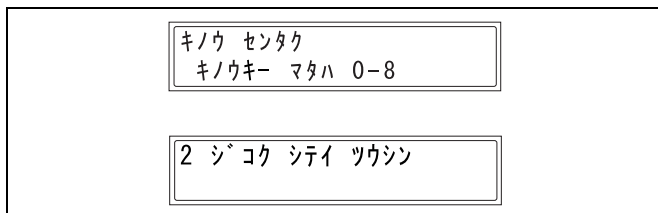
3

【機能】を押します。



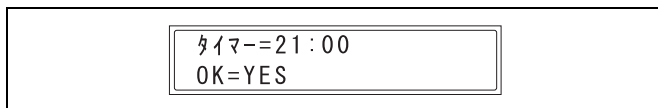
4

テンキーの【2】を押します。または、【機能】を2回押して「ジコク シテイ ツウシン」を選択し、【Yes 決定】を押します。



5

テンキーで送信時刻を入力し、【Yes 決定】を押します。



ひとこと

- 時刻指定送信は、順次同報送信と組み合わせて指定できます。
- 順次同報送信と時刻指定送信はメールアドレスにプログラムダイヤルの送受信機能として設定することもできます。設定方法については、本体に付属のユーザーズガイドを参照してください。

詳しく説明します

時刻は24時間制で指定します。現在時刻が正確に登録されていないと、指定した時刻に送信できません。

ひとこと

入力を間違えたときは、【No】を押して時刻を入力しなおしてください。

6

相手先を指定します。

☎=AAA NAGOYA
(ソウシン=スタート)

7

【スタート】を押します。

読み取りが開始され、送信待機状態になります。

詳しく説明します

- 相手先のアドレスは、ワンタッチダイヤルキー、グループダイヤルキー、短縮ダイヤルキー、電話帳からの選択、テンキーでの直接入力により指定できます。
- テンキーでアドレスを入力するときは、メールアドレス入力後に【▼】を押して送信モードの詳細設定を行うことができます。設定のしかたについては、「メールモードの設定変更をする」(p. 6-8)を参照。

6

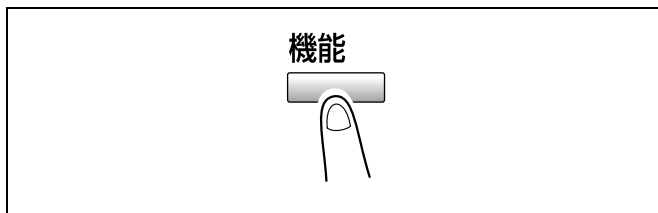
6.11 送信予約をキャンセル（削除）する

時刻指定送信などの指定により本機のメモリ内に蓄積されている送信待ちのメールの中で、取り消したいものを削除できます。

■ 予約キャンセルのしかた

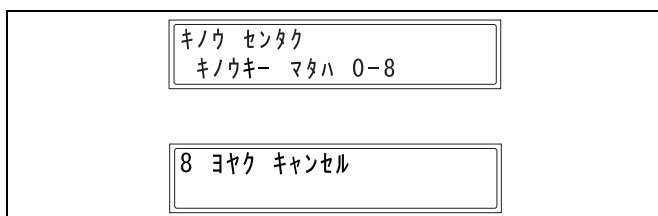
1

【機能】を押します。



2

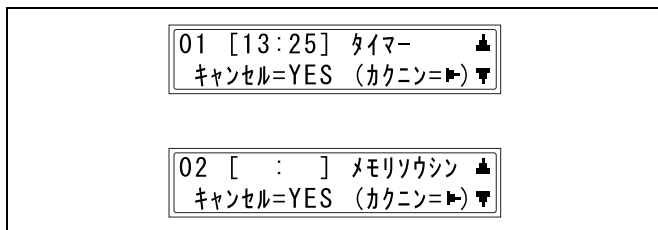
テンキーの【8】を押します。または、【機能】を8回押して「ヨク キャンセル」を選択し、【Yes 決定】を押します。



メモリ内に蓄積されている送信待ちのジョブ内容（送信指定時刻／送信設定の種類）が表示されます。

3

【▼】、【▲】で取り消したい送信ジョブを選択します。送信ジョブの種類は、以下のように表示されます。（ファクス送信ジョブも表示されます。）



メモリソウシン：メモリ送信
ドウサツ：順次同報送信
タイマー：時刻指定送信
シンテン：親展送信
POLL-TX：ポーリング送信
POLL-RX：ポーリング受信
チュウケイ：中継指示送信、中継同報送信
ソウワ：ファクス転送

詳しく説明します

メモリ内に送信待ちのジョブがないときは「*ヨク ハアリマセン*」のメッセージが表示されます。

- 表示されている送信ジョブ内容について送信相手先を確認したいときは、【▶】を押します。確認後【Yes 決定】を押すと、一つ前の画面に戻ります。

4

【Yes 決定】を押し、表示されている送信ジョブを削除します。

02 [:] メモリソウシン キャンセルシマシタ

- 機能モードのメニューが表示されます。

5

続けて予約の削除を行いたい場合は【8】を押し、手順3～4を繰り返します。

- 予約の削除が終了したら、【No】を押して基本画面に戻ります。

6

6.12 インターネットファクス受信

■ 受信できるメールの形式

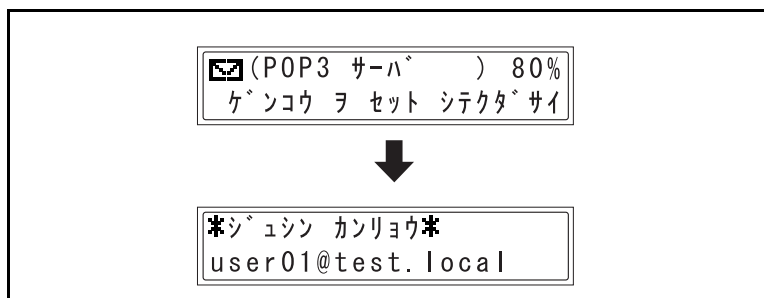
本機では、以下の種類の形式のメールを受信できます。

- メール本文テキスト（1バイト英数字のみ）
- TIFF-F イメージ
- 添付されたテキストファイル（1バイト英数字のみ）

■ 自動受信

POP3 サーバに一定の間隔で自動的に確認するよう設定されている場合、自動的にインターネットファクスのメールを受信することができます。「自動受信を設定する」(p. 2-26)を参照。メールの自動受信を設定していない場合や、すぐに受信したい場合は、手動でメールを確認することができます。「手動受信」(p. 6-24)を参照。

< 自動受信中の画面 >

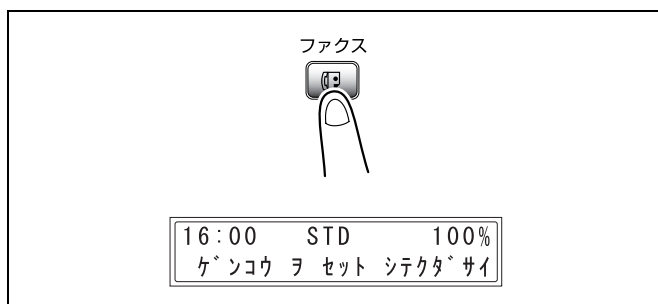


■ 手動受信

メールの自動受信を設定していない場合や、すぐに受信したい場合などは、手動でメールを確認することができます。

1

【ファクス】を押します。ファクスモードに切り替わり、ファクス画面が表示されます。

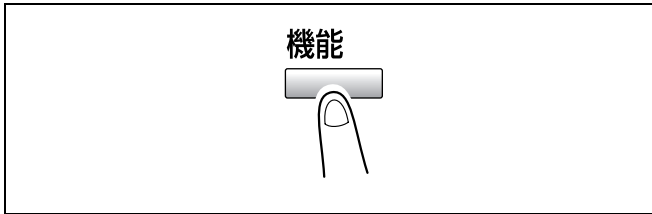


詳しく説明します

- IP アドレスおよび POP3 サーバアドレスが未設定の場合は、受信できません。また、POP3 アカウント、POP3 パスワードが正しく設定されていない場合は、通信エラーとなります。「メール設定（メール設定2メニュー）」(p. 2-21)を参照。
- アプリケーションの独自形式ファイルなどが添付されている場合も、受信できません。
- 受信できない形式のメールが届いた場合は、管理者に結果通知が転送されます。「結果転送アドレスを設定する」(p. 2-27)を参照。
- メール本文が HTML 形式の場合は、プリントできません。

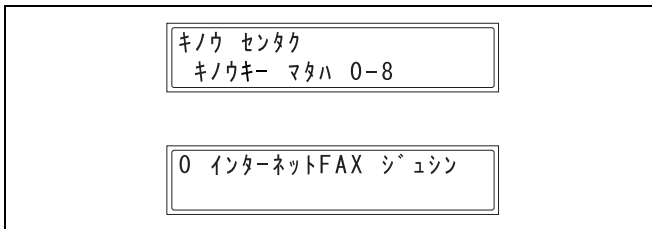
2

【機能】を押します。



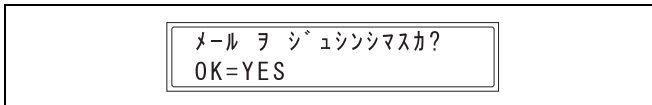
3

テンキーの【0】を押します。または、【機能】を9回押して「インターネットFAX シュシ」を選択し、【Yes 決定】を押します。



4

【Yes 決定】を押します。POP3 サーバの受信メールを確認し、受信メールがある場合はプリントを開始します。受信メールの確認・プリントが終了すると、ファクス画面に戻ります。



6

6.13 ファクス文書の転送

受信したファクス文書を他のファクス機（ファクス番号）やインターネットファクス機（メールアドレス）に転送できます。

受信したファクス文書のデータ形式によって、転送機能について以下のような制限があります。

受信文書	転送先	送信モード	転送の可否
○：可能、△：条件により可能、－：不可能			
ファクス	ファクス番号	－	○
	メールアドレス	基本モード	△ ^{*1}
		拡張モード	△ ^{*2}
インターネットファクス	ファクス番号	－	－
	メールアドレス	基本モード	△ ^{*1}
		拡張モード	△ ^{*3}

*1 受信文書が以下の場合は転送可能です。

- 文書のサイズ：A4 サイズ以下
- 画質：スタンダードまたはファイン
- 圧縮符号化方式：MH

*2 受信文書が以下の場合は転送可能です。

- 文書のサイズ：拡張モードでの最大送信サイズで設定されているサイズ以内
- 画質：拡張モードでの最大解像度で設定されている解像度以下
- 圧縮符号化方式：拡張モードで設定されている圧縮符号化方式

*3 受信文書が以下の場合は転送可能です。

- 文書のサイズ：拡張モードでの最大送信サイズで設定されているサイズ以内
- 画質：スタンダード、ファイン、スーパーファイン（400 × 400 dpi）
- 圧縮符号化方式：MH、MR、MMR、JBIG

■ 転送設定のしかた

1

【ユーティリティ】を押します。

2

【▼】を押し、「ジューシッ セッテイ」を表示させます。

ジューシッ セッテイ?	▲
OK=YES / マタハ 0-9	▼

3

テンキーの【6】を押し、「テンソウ」を選択します。

6 テンソウ

4

【◀】、【▶】で「ON」、「ON(プリント)」、「OFF」のいずれかを選択し、【Yes 決定】を押します。

ON ON(プリント) *OFF
◀, ▶ & YES

- 「ON」、「ON(プリント)」を選択すると、転送先を指定する画面が表示されます。(手順5へ)
- 「OFF」を選択すると、受信設定メニューに戻ります。

5

テンキーからの直接入力、ワンタッチダイヤルキー、または短縮ダイヤルキーにより、相手先のメールアドレスまたはファクス番号を入力します。

6

【Yes 決定】を押します。

- 手順5でテンキーからの直接入力によりメールアドレスを設定したときは、送信モードを指定する画面が表示されます。(手順7へ)
- 手順5でテンキーからの直接入力以外の方法によりメールアドレスを設定したとき、またはファクス番号を設定したときは、受信設定画面が表示されます。

詳しく説明します

転送&プリント
(「ON(プリント)」)を選択すると、受信したファクス文書が転送されると同時に、本機でプリントされます。

6

7

【◀】、【▶】で送信モード（「林」または「カチヨウ」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

*林	カチヨウ
◀, ▶ & YES	

- 「カチヨウ」を選択すると、送信サイズの上限を設定する画面が表示されます。（手順 8 へ）
- 「林」を選択すると、受信設定メニューに戻ります。

8

【◀】、【▶】で送信サイズの上限（「A4」、「B4」、「A3」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

A4	B4	*A3
◀, ▶ & YES		

9

【◀】、【▶】で送信画質の上限（「FINE」または「S.FINE」）を選択し、【Yes 決定】を押します。

FINE	*S.FINE
◀, ▶ & YES	

10

【◀】、【▶】で圧縮符号化方式（「MH」、「MR」、「MMR」）を選択します。

*MH	MR	MMR
◀, ▶ & YES		

11

【Yes 決定】を押すと、受信設定メニューに戻ります。



第 7 章

送受信結果の確認

本機の送受信結果の確認のしかたについて説明します。

7.1 送受信結果の確認について 7-2

7.1 送受信結果の確認について

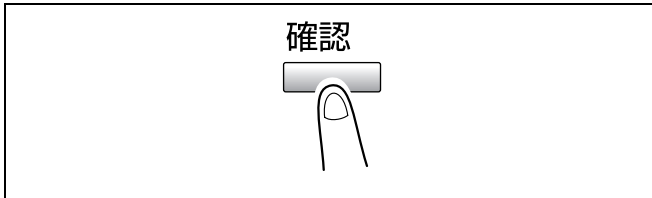
メール送受信した文書の通信結果情報は、ファクス送受信を含めて最大 60 件まで記録されます。

本機は、60 通信ごとに自動的にプリントするように設定されています。また、【確認】から通信結果を表示させたりプリントしたりして確認することもできます。

■ 通信結果の確認のしかた

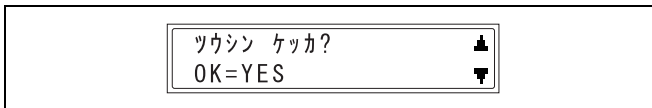
1

【確認】を押します。



2

【▼】を 1 回押して「ツウシン ケッカ」を選択し、【Yes 決定】を押します。



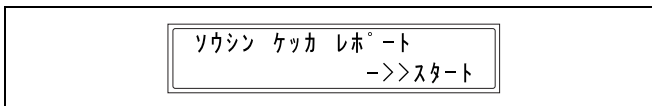
3

【▼】、【▲】を押して希望する通信結果を表示させ、確認します。

- 通信結果画面では、送信結果は「TX」、受信結果は「RX」と表示されます。



- 通信結果を表示中に【No】を 2 回押すと、確認モードを終了して基本画面が表示されます。
- 通信結果レポートをプリントしたい場合は、【スタート】を押します。通信結果レポートをプリント後は基本画面が表示されます。





第 8 章

トラブルシューティング

エラーメッセージが表示されたときや、さまざまなトラブルの処置のしかたについて説明します。

- 8.1 主なメッセージと処置のしかた 8-2
- 8.2 故障かな？と思ったら 8-3

8.1 主なメッセージと処置のしかた

メッセージ	原因	処置のしかた
* ツウシ エラー * XXXX サーバ	本体内部でのトラブル、ネットワークあるいはサーバの都合によりサーバとの通信ができませんでした。	通信結果レポートを確認してください。 ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* セツゾク テキマセン * XXXX サーバ	サーバへ接続できませんでした。	イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。(p. 1-17) 「メール セッティ 1」、「メール セッティ 2」、「ネットワーク セッティ」メニューの機能設定を確認してください。(p. 2-2) ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* IP アドレス シュトクデキマセン * XXXX サーバ	DNS サーバまたは DHCP から IP アドレスを取得できませんでした。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* セツダン サレマシタ * XXXX サーバ	サーバとの接続が切断されました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* パスワード が ちがいます * XXXX サーバ	パスワードが異なるため、サーバにログインできませんでした。	POP3 サーバについては、「メール セッティ 2」メニューで機能設定を確認してください。(p. 2-21) ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* プリント テキマセンシタ * XXXX サーバ	本機でプリントできないメールを受信しました。(TIFF-F 形式以外の添付ファイルの場合)	送信者に TIFF-F ファイルまたは正しい形式のテキストで送信するよう依頼してください。
* メモリフソク / ソウシ キャンセル *	メール送信時に、画像データがメモリオーバーをおこしてしまいました。	メモリに保存されている送信データを取り出してください。
* メモリフソク / ジュシ キャンセル * XXXX サーバ	メール受信時に、画像データがメモリオーバーをおこしてしまいました。	メモリに保存されている受信データを取り出してください。
* ファイルフル / ソウシ キャンセル *	メール送信時に、最大数のメモリファイルを使用しました。	メモリに保存されている送信データを取り出してください。
* ファイルフル / ジュシ キャンセル * XXXX サーバ	メール受信時に、最大数のメモリファイルを使用しました。	メモリに保存されている受信データを取り出してください。
* サーバ メモリフソク * SMTP サーバ	メール送信時に、SMTP サーバがメモリオーバーをおこしてしまいました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
* FTP SERVER ERROR *	スキャンデータをアップロード時、FTP サーバに正常にアップロードできませんでした。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。

8.2 故障かな？と思ったら

故障かなと思ったときは、ここで説明している処置を行ってください。

■ Scan to E-mail

こんなときは	原因	処置のしかた	参照ページ
送信できない	接続が正しく行われていません。	ハブのランプ表示を確認し、接続状態を確認してください。	—
	装置に必要な設定が登録されていません。	必要なネットワーク設定を行ってください。	p. 2-2
	LAN ケーブルが断線しています。	LAN ケーブルを交換してください。	—
送信できるが相手端末やコンピュータに画像が出力できない	相手端末に、送信した画像を処理する能力がありません。	相手端末でサポートされているサイズ、画質、圧縮符号化方式を設定して送信しなおしてください。	p. 4-8 p. 4-10
	テキスト挿入しないで文書を送信しています。	メールソフトによってはテキストのない添付ファイルだけのメールを受信した場合に、添付ファイルが見えなくなることがあります。この場合には送信文書にテキスト挿入するように設定して送信しなおしてください。	p. 2-18

■ インターネットファクス送信

こんなときは	原因	処置のしかた	参照ページ
送信できない	接続が正しく行われていません。	ハブのランプ表示を確認し、接続状態を確認してください。	—
	装置に必要な設定が登録されていません。	必要なネットワーク設定を行ってください。	p. 2-2
	LAN ケーブルが断線しています。	LAN ケーブルを交換してください。	—
送信中断を指示したが中断されない	インターネットファクス送信の中断には時間がかかる場合があります。	中断されるまでしばらくお待ちください。	—

■ インターネットファクス受信


こんなときは	原因	処置のしかた	参照ページ
受信しない	接続が正しく行われていません。	ハブのランプ表示を確認し、接続状態を確認してください。	—
	自動受信確認しない設定になっています。	自動受信確認する時間間隔を設定してください。 手動で受信してください。	p. 2-26 p. 6-24
	装置に必要な設定が登録されていません。	必要なネットワーク設定を行ってください。	p. 2-2
	他のメールソフトや他のユーザで、同じ POP3 ユーザ名を使用しています。	同じ POP3 ユーザ名を他のメールソフトなどで使用しないでください。	—
	LAN ケーブルが断線しています。	LAN ケーブルを交換してください。	—
受信するが印刷しない	対応していない形式のデータが添付されています。またはデータが何もないメールを受信しました。	送信者に TIFF-F ファイルまたはテキストで送信するよう依頼してください。	—
	メモリオーバ	保存されている文書を印刷するなどして、装置本体のメモリ使用量を少なくした状態にし、送信者にもう一度送信するよう依頼してください。	—
同じ文書を何度も受信する	メールのサイズが大きすぎるため、サーバとの接続が受信途中でタイムアウトしています。	コンピュータから代行受信するなどして、サーバから該当するメールを削除してください。 送信者にメールのサイズを小さくして送るよう依頼してください。	—
受信中断を指示したが中断されない	インターネットファクス受信の中断には時間がかかります。	中断されるまでしばらくお待ちください。	—

■ ダイレクトファクス送信（ゲートウェイ送信）

こんなときは	原因	処置のしかた	参照ページ
本機からファクス送信されない	ゲートウェイ送信の通信モードが正しく設定されていません。	ネットワーク設定の「ゲートウェイ」を「ファクス」に設定し、通信モードを正しく設定してください。	p. 2-12

■ PageScope Web Connection

こんなときは	原因	処置のしかた	参照ページ
PageScope Web Connection に接続できない	装置本体に IP アドレスを設定していません。	IP アドレスを設定してください。	p. 2-8
	ブラウザの URL 設定に誤りがあります。	装置に設定した IP アドレスを URL に入力してください。	p. 1-14
	ブラウザ側の設定に誤りがあります。	ネットワーク構成によっては、装置本体にアクセスするのに接続のための設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。	—
	ブラウザでプロキシ設定をしていて、プロキシサーバから本機の IP アドレスが認識できない場合は、PageScope Web Connection 画面が表示できません。	ブラウザのプロキシ設定で、プロキシサーバを使用しない例外の欄に本機の IP アドレスを追加してください。	—
	LAN ケーブルが断線しています。	LAN ケーブルを交換してください。	—
画面が乱れる	ブラウザのサイズが小さくなっています。	ブラウザのサイズを大きくしてください。	—
	フォントサイズが適切ではありません。	コンピュータのフォントサイズ、および、ブラウザのフォントサイズを適切に設定してください。	—
画面内に半角「・」が表示される	ブラウザによっては、このような表示となる場合があります。	—	—
画面内に削除した文字の一部が残る	ブラウザによる動作が違います。	ブラウザの表示の更新、または、再読み込みを行ってください。	—
入力・表示エリアの桁数と登録可能な文字数が異なる	ブラウザによっては、入力エリア内でスクロールします。そうでない場合でも表示上の問題で、実際の登録操作には影響ありません。	—	—
登録・表示できない文字がある	OS によっては、登録・表示できない文字があります。(半角カナなど)	—	—
スペース文字が登録・表示できない	言葉の末尾に入力されたスペースは無効となる場合があります。	—	—
登録エラー時に入力データがクリアされてしまう	ブラウザによっては、パスワードなど「*」で表示される項目がクリアされることがあります。	—	—



第 9 章

付録

本機の仕様について説明します。

9.1 おもな製品仕様 9-2

9.1 おもな製品仕様

■ Scan to E-mail / Scan to Server (FTP)

通信プロトコル	メール送信 : SMTP、TCP/IP FTP 送信 : FTP、TCP/IP
解像度	150 × 150 dpi、300 × 300 dpi、600 × 600 dpi
データフォーマット	メールフォーマット : MIME 添付ファイルフォーマット : TIFF、PDF
圧縮符号化方式	MH、MR、MMR
ネットワーク	Ethernet LAN (10BASE-T、100BASE-TX 接続)

■ インターネットファクス

通信プロトコル	メール送信 : SMTP、TCP/IP メール受信 : POP3、TCP/IP
解像度	送信 : 204 × 98 dpi、204 × 196 dpi、204 × 391 dpi (拡張モード時) 受信 : 204 × 98 dpi、204 × 196 dpi、204 × 391 dpi、408 × 391 dpi、 200 × 100 dpi、200 × 200 dpi
データフォーマット	メールフォーマット : MIME 添付ファイルフォーマット : TIFF-F
圧縮符号化方式	送信 : MH、MR (拡張モード時)、MMR (拡張モード時) 受信 : MH、MR、MMR、JBIG
ネットワーク	Ethernet LAN (10BASE-T、100BASE-TX 接続)



第 10 章

索引

10.1 項目別索引

アルファベット

DHCP サーバ	2-8
DNS 設定	2-3, 2-11, 2-32
FTP コンフィギュレーション	2-6, 2-32
FTP サーバ	1-6
IP アドレス	2-2, 2-8
LAN ケーブル	1-17
No/C キャンセルキー	1-8
PageScope Web Connection	1-13, 2-28, 3-10
管理者モード	1-16
POP3 アカウント	2-5, 2-24
POP3 サーバ	2-5, 2-21, 2-31
POP3 サーバタイムアウト	2-5, 2-23
POP3 パスワード	2-5, 2-25
POP3 ポート No.	2-5, 2-22
POP3 サーバ	1-6
Scan to E-mail	1-2, 4-1
Scan to Server (FTP)	1-3, 5-1
SMTP サーバ	1-6, 2-3, 2-15, 2-30
SMTP サーバタイムアウト	2-4, 2-17
SMTP ポート No.	2-4, 2-16
Yes 決定キー	1-8

あ行

圧縮符号化方式	4-12
インターネットファクス	1-5, 6-1
絵文字	1-9
エラーランプ	1-8

か行

解像度	4-11
概要	1-2
確認キー	1-8
画質	4-11, 6-7
環境	1-6
機能キー	1-7
キャンセル	6-22
グループダイヤル ..	3-8, 3-16, 4-16, 6-13
ゲートウェイ	2-2, 2-10
ゲートウェイ送信	2-3, 2-12
結果転送アドレス	2-6, 2-27
原稿画質 / 濃度キー	1-8
原稿ガラス	
Scan to E-mail	4-5

Scan to Server	5-5
インターネットファクス	6-4
検索	4-18, 6-15
件名	2-4, 2-18

さ行

サーバ送信	1-3, 5-1
サブネットマスク	2-2, 2-9
時刻指定送信	6-20
自動原稿送り装置	
Scan to E-mail	4-2
Scan to Server	5-2
インターネットファクス	6-2
自動受信	2-5, 2-26, 6-24
受信	6-24
手動受信	6-24
仕様	9-2
スキャンキー	1-8
スキャン設定	4-11
スタートキー	1-9
ストップキー	1-9
操作パネル	1-7
送受信結果	7-1
送信	
Scan to E-mail	4-2
Scan to Server	5-2
インターネットファクス	6-2
送信キャンセル	6-22
送信先	3-2
送信者名	2-3, 2-13
送信設定	2-31, 6-7
送信元メールアドレス	2-14

た行

ダイレクトファクス送信	1-6
短縮ダイヤル	3-5, 3-13, 3-14, 3-18, 4-15, 6-12
短縮ダイヤルキー	1-7
中継同報送信	6-19
通信エラー	8-2
通信結果	7-2
ディスプレイ	1-8, 1-9
データ形式	4-11
テキスト挿入	2-4, 2-18, 2-34
テンキー	1-8

転送

結果転送アドレス	2-6, 2-27
ファクス文書の転送	2-34, 6-26
電話帳	4-17, 6-14
電話帳キー	1-7
同報送信	6-17

な行

入力切替キー	1-9
ネットワーク設定	2-2, 2-8, 2-29

は行

倍率キー	1-8
パスワード	8-2
ファイル転送設定	2-6, 2-35
ファクス画質キー	1-7
ファクスキー	1-8
ページの見かた	6
ヘッダープリント	2-6, 2-27

ま行

メールアドレス	2-3, 2-14, 3-2, 4-3
メールサーバ	1-6
メール設定	2-3, 2-13, 2-30
メール送信	1-2, 4-1
メールモード	2-4, 2-19
メモリ不足	
Scan to E-mail	4-13
Scan to Server	5-8
インターネットファクス	6-10
文字入力	1-10
文字列の訂正	1-12

や行

ユーティリティキー	1-8
読み取りサイズ	4-10
読み取りモード	4-8

ら行

リセットキー	1-9
ローカルネットワーク	1-17

わ行

ワンタッチダイヤル	
.....	3-3, 3-10, 3-11, 4-14, 6-11
ワンタッチダイヤルキー	1-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
 お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング